

平成 24 年度事業報告書

平成 25 年 5 月 31 日
横浜市立みなと赤十字病院

目 次

1	概要	4
1-1	施設概要	
1-2	建物図	
1-3	施設基準取得状況	
2	政策的医療	10
2-1	24時間365日の救急医療及び2次救急医療	
2-2	小児救急医療	
2-3	周産期救急医療	
2-4	精神科救急医療	
2-5	精神科身体合併症医療	
2-6	緩和ケア医療	
2-7	アレルギー疾患医療	
2-8	障害児者合併医療	
2-9	災害時医療	
2-10	市民の健康危機への対応	
3	指定管理者独自の取組み	32
3-1	がんセンター	
3-2	地域周産期母子医療センター	
4	地域医療の質の向上に向けた取組み	38
4-1	医療における安全管理	
4-2	医療倫理に基づく医療の提供	
4-3	地域医療機関との連携・支援（地域医療連携課分）	
4-4	地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室分）	
4-5	市民委員会	
4-6	治験・受託研究	
4-7	患者・市民に対する相談・啓発活動	
4-8	患者サービス	
4-9	医療データベースの構築と情報提供	

5	職員研修	60
5-1	職員研修（総括）	
5-2	職員研修（医師）	
5-3	職員研修（看護部）	
5-4	職員研修（事務部）	
6	院外からの研修受入れ	68
6-1	院外からの研修受入れ（看護部）	
6-2	院外からの研修受入れ（薬剤部）	
6-3	院外からの研修受入れ（リハビリテーション科部）	
7	職員	76
7-1	組織図	
7-2	職員配置状況	
7-3	診療科責任体制	
7-4	看護部門責任体制	
7-5	健診部門責任体制	
7-6	医療連携部門責任体制	
7-7	検査・医療技術部門責任体制	
7-8	管理部門責任体制	
8	施設管理	86
8-1	医療機器の整備状況	
8-2	施設設備改修報告	
8-3	施設設備管理報告	
8-4	外部委託	
9	経営報告	92
9-1	稼働状況等報告	
9-2	中央部門業務報告	
9-3	決算書	

1 概要

1-1 施設概要

1 名称

横浜市立みなと赤十字病院

2 開設者

横浜市長（指定管理者として日本赤十字社が運営）

3 開設年月日

平成 17 年 4 月 1 日

4 病床数

634 床（一般 584 床、精神 50 床）

5 標榜科

内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

6 沿革

- ・平成 15 年 3 月 横浜市立病院あり方検討委員会（横浜市長の諮問機関）が新病院を公設民営とする最終答申を提出
- ・平成 15 年 9 月 横浜市議会で新病院運営の公設民営化を決定
- ・平成 15 年 11 月 横浜市が指定管理者評価委員会を設置
日本赤十字社が指定管理者提案申込書を横浜市に提出
- ・平成 16 年 1 月 評価委員会が提案書による競争の結果として、「指定管理者として日本赤十字社がふさわしい」との評価報告書を市長に提出
- ・平成 16 年 2 月 横浜市議会で日本赤十字社を指定管理者として決定
- ・平成 16 年 9 月 横浜市議会で新病院名称を「横浜市立みなと赤十字病院」に決定
- ・平成 17 年 4 月 横浜市立みなと赤十字病院が開院
- ・平成 19 年 3 月 病院機能評価 Ver5.0 取得
- ・平成 21 年 2 月 地域医療支援病院承認
- ・平成 21 年 4 月 救命救急センターの指定

- ・平成 22 年 3 月 神奈川県 DMAT 指定病院
- ・平成 24 年 3 月 病院機能評価 Ver6.0 取得
- ・平成 24 年 4 月 がん診療連携拠点病院の指定
- ・平成 24 年 7 月 地域周産期母子医療センターの認定
- ・平成 25 年 4 月 標榜科を 23 診療科から 35 診療科へ細分化

1-2 建物図

8階	病棟
7階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟
6階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟
5階	A病棟 C病棟 D病棟 NICU 透析室 化学療法センター 売店 理容室 図書室
4階	電気室・機械室
3階	救急病棟 ICU HCU CCU 手術室 心臓カテーテル室 医局 看護部 事務部 会議室
2階	健診センター アレルギーセンター 精神科外来 緩和ケアセンター X線撮影室 血管撮影室 CT室 MRI室 心臓カテーテル室 内視鏡検査室 輸血検査室 病理検査室 細菌検査室 検体検査 SPD ME 調理室
1階	総合相談室 紹介受付 新患受付 再来受付コーナー お薬相談室 自動精算機 薬剤部 証明書発行受付 中央待合ホール 総合内科 消化器科 外科 心臓病センター (循環器科・心臓血管外科) リハビリテーション科 泌尿器科 脳神経センター (神経内科・脳神経外科) 麻酔科 整形外科 形成外科 歯科口腔外科 産婦人科 皮膚科 呼吸器病センター (呼吸器科・呼吸器外科) 眼科 小児科 耳鼻咽喉科 採血室 尿検査 心電図 超音波 筋電図 脳波 救急受付 X線撮影室 CT室 正面入口 レストラン 売店 救命救急センター 救急入口 時間外入口 緩和ケアセンター入口 中央監視防災センター
B1階	RI室 リニアック室 地下出入口 地下駐車場 喫茶 売店

1-3 施設基準取得状況

1 基本診療科

地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科外来診療環境体制加算
障害者歯科医療連携加算 一般病棟入院基本料（7対1）
総合入院体制加算 臨床研修病院入院診療加算 救急医療管理加算
乳幼児救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算 医師事務作業補助体制加算
急性期看護補助体制加算 療養環境加算 重症者等療養環境特別加算
緩和ケア診療加算 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算
感染防止対策加算 褥瘡患者管理加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 ハ
ハイリスク妊娠管理加算 呼吸ケアチーム加算
地域歯科診療支援病院入院加算 救命救急入院料1・2
特定集中治療室管理料1 ハイケアユニット入院医療管理料
新生児特定集中治療室管理料1 小児入院医療管理料3
緩和ケア病棟入院料 精神科救急・合併症入院料 看護配置加算
無菌治療室管理加算1 無菌治療室管理加算2 がん診療連携拠点病院加算
患者サポート体制充実加算 ハイリスク分娩管理加算 退院調整加算
救急搬送患者地域連携紹介加算 救急搬送地域連携受入加算
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 データ提出加算
歯科診療特別対応連携加算

2 特掲診療料

高度難聴指導管理料 がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者カウンセリング料 地域連携小児夜間・休日診療料2
院内トリアージ実施料 開放型病院共同指導料
地域連携診療計画管理料（大腿骨・脳卒中） 認知症専門診断管理料
肝炎インターフェロン治療計画料 薬剤管理指導料
医療機器安全管理料1・2・歯科
歯科治療総合医療管理料 HPV核酸同定検査 検体検査管理加算I・II
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 植込型心電図検査
胎児心エコー法 皮下連続式グルコース測定 神経学的検査
小児食物アレルギー負荷検査 内服・点滴誘発試験
センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る。）
画像診断管理加算1 CT撮影及びMRI撮影
抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算1 無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料（II）
脳血管疾患等リハビリテーション料I 運動器リハビリテーション料I
呼吸器リハビリテーション料I 医療保護入院等診療料
エタノールの局所注入（甲状腺・副甲状腺） 透析液水質確保加算
乳がんセンチネルリンパ節加算1・2

経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
 経皮的中隔心筋焼灼術 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び
 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付
 植込型除細動器交換術
 大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 経皮的大動脈遮断術
 ダメージコントロール手術 体外衝撃波胆石破碎術
 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 医科点数表第2章第10節手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部手
 術の通則4を含む)に掲げる手術
 輸血管管理料I 歯周組織再生誘導手術 麻酔管理料I・II
 放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療
 画像誘導放射線治療加算(IGRT) 直線加速器による定位放射線治療
 クラウン・ブリッジ維持管理料
 外来緩和ケア管理料 糖尿病透析予防指導管理料 外来リハビリテーショ
 ン指導料 外来放射線照射診療料 がん治療連携計画策定料 がん治療連
 携管理料 時間内歩行試験 ヘッドアップティルト試験 大腸CT撮影加
 算 抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管
 理料に限る) 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科診療以外の
 診療に係るものに限る) 下顎骨形成術((骨移動を伴う場合に限る)(歯
 科診療以外の診療に係るものに限る)
 腹腔鏡下肝切除術 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術 早期悪性腫瘍大腸粘膜
 下層剥離術 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍術 自己生体組織接着剤作成術 人工
 肛門・人工膀胱造設術前処置加算 広範囲顎骨支持型装置塚入手術 体外
 照射呼吸性移動対策加算 病理診断管理加算 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性
 黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る)

3 入院時食事療養

入院時食事療養I 特別管理給食

4 保険外併用療養費(選定医療)

200床以上病院の未紹介患者の初診 医薬品の治験に係る診療
 医療機器の治験に係る診療 特別の療養環境の提供(室料差額)
 180日を超える入院の特定療養費

5 先進医療

超音波骨折治療法

2 政策的医療

2-1 24時間365日の救急医療及び2次救急医療

1 事業概要

- ・「救急車を断らない」ことを第一の目標にする。
- ・初期から三次まで重症度に係わりなく受け入れる。

2 24年度実績

- ・総患者数 24,483 人（入院 5,536 人、入院率 22.6%）、
- ・救急車での来院数 11,914 人（入院 3,647 人、入院率 30.6%）、
救急車断り数 322 件（断り率 2.6%）

3 目標に対する評価

救急車断り率 5%以下を年度当初の目標としたが、それをはるかに下回る数字を達成することができた。

4 次年度以降の取組み

救急車断り率 2%台以下をめざし、そのうえで救急車受入数 11,000～12,000 台を目標としたい。

5 執行体制

救命救急センター長 八木啓一、
救急部長 伊藤敏孝、集中治療部長 武居哲洋

6 データ

救急車受入数：H22 年度 9,951 台
 H23 年度 12,167 台
 H24 年度 11,914 台
救急車断り率：H22 年度 10.4%
 H23 年度 4.3%
 H24 年度 2.6%

2-2 小児救急医療

1 事業概要

横浜市小児救急制度における「小児拠点病院」としての役割を担っている。
具体的には、準夜間帯における小児二次救急、深夜間帯における小児一次救急の受け入れを行う。

2 24年度実績

小児科救急患者数；4,137件
(うち、入院患者数407件、救急車受入件数548件)

3 目標に対する評価

小児救急拠点病院としての役割を十分に担っていると考えている。
また、平成24年7月には、地域周産期母子医療センターの認定を受けた。
さらに、平成24年12月からは、「新生児特定集中治療室管理料(1)」の算定を開始し、当直体制も小児科医師と新生児担当医師の2人体制とした。

4 次年度以降の取組み

引き続き小児救急拠点病院としての役割を担っていく。
なお、一部の医師が育児等の理由により当直に入ることができず、当直可能医師が不足している。このため、外部応援も含めた当直体制としている。
今後、横浜市とも協議しながら、当直体制のあり方について検討していきたい。

5 人員体制

小児科部長 菊池信行
その他小児科常勤医師10人、非常勤医師12人

2-3 周産期救急医療

1 事業内容

周産期救急医療は主に母体搬送、新生児搬送にかかわることである。また、未受診妊婦のいわゆる飛び込み分娩、自宅分娩、なども含まれる。

「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という目標を掲げ、診療にあたっている。

平成24年7月25日付で当院は地域周産期母子医療センターに指定された。地域周産期母子医療センターとしての取り組みは「3-2 地域周産期母子医療センター」で述べてあるので、そちらを参照していただきたい。

2 24年度実績

- ・母体搬送受け入れ数；14例
- ・飛び込み分娩数；2例
- ・分娩総数；851例

3 目標に対する評価

分娩総数；851例と前年度の603例より大幅に増加した。常勤医師の増員によるところが多く、月平均71例の分娩を取り扱っている。

産科は24時間365日の体制で当直を組み、緊急手術もいつでも対応できる体制をとっている。

「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という、事業目標は達成していると考えている。

4 次年度以降の取り組み

主に地域周産期母子医療センターとしての取り組みとなり、「3-2 地域周産期母子医療センター」で述べてあるので、そちらを参照していただきたい。

未だ、分娩予約を行っており、分娩をお断りしないことが出来る分娩数(約1200程度かと思われる)を安全に扱える医療体制を整備することが望まれる。そのためには、産科常勤医師8~10名以上。麻酔科当直体制などが必要である。

5 執行体制

- ・産婦人科部長 多田聖郎
- ・産科常勤医師6名(部長を含む)

- ・産科非常勤医師 3 名
- ・助産師 42 名（非常勤吹きむ）

6 設備

- ・分娩室 1 室
- ・LDR 3 室
- ・陣痛室 3 室
- ・産婦人科病棟 40 床

7 データ

別紙「周産期救急医療実績」のとおり

周産期救急医療実績

平成24年度

様式/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
正常経膣	42	52	38	49	50	55	49	56	40	40	52	50	573	67.3%
予定帝切	4	13	10	9	12	3	9	12	11	8	7	6	104	12.2%
緊急帝切	1	6	7	3	13	5	3	11	9	12	6	4	80	9.4%
吸引	2	2	6	8	3	7	11	5	5	4	10	6	69	8.1%
鉗子	1	0	2	0	2	2	2	3	1	5	4	4	26	3.1%
骨盤位													0	0.0%
合計	50	73	63	69	80	72	74	87	66	69	79	70	852	71.0%

母体搬送(送り)	0	3	0	1	0	0	0	0	0				4	
母体搬送(受け)	0	0	3	0	0	0	2	3	3	0	4	0	15	
院内助産	16	5	15	25	28	26	18	19	24	20	17	17	230	19.2
無痛	6	7	8	4	10	9	16	16	5	11	14	21	127	10.6
正常	4	6	5	3	7	3	8	8	1	4	8	12	69	54.3%
吸引	2	0	0	1	1	2	6	1	0	0	3	3	19	15.0%
帝王切開	0	1	1	0	1	2	0	5	4	3	0	2	19	15.0%
鉗子	0	0	2	0	1	2	2	2	0	4	3	4	20	15.7%

平成23年度

様式/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
正常経膣	41	43	52	40	38	38	30	33	47	38	28	42	470	75.1%
予定帝切	5	5	4	8	5	5	6	4	5	9	6	3	65	10.4%
緊急帝切	2	2	5	7	2	1	3	8	4	5	4	6	49	7.8%
吸引	4	3	2	0	1	1	0	5	2	4	1	1	24	3.8%
鉗子	4	1	0	1	0	1	1	2	2	2	3	1	18	2.9%
骨盤位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	56	54	63	56	46	46	40	52	60	58	42	53	626	52.2

母体搬送(送り)	1	0	0	0					1	0	0	0	2	
母体搬送(受け)	1	0	1	3	1	2	2	0	1	0	0	2	13	
院内助産	16	18	13	8	11	22	13	15	14	16	5	15	166	13.8
無痛	4	3	4	6	3	4	4	7	0	6	4	8	53	4.4
正常	2	2	3	5	0	4	4	5	0	3	1	5	34	64.2%
吸引	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	5.7%
帝王切開	1	1	0	1	1	0	0	1	0	2	0	2	9	17.0%
鉗子	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0	7	13.2%

平成22年度

様式/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率
正常経膣	48	50	41	48	46	43	49	49	55	41	43	52	565	73.8%
帝王切開	14	10	18	11	13	13	10	12	12	7	7	9	136	17.8%
吸引	3	1	5	0	4	4	5	3	4	4	3	2	38	5.0%
鉗子	2	3	1	5	2	1	2	3	2	4	1	0	26	3.4%
骨盤位	1									0	0	0	1	0.1%
合計	68	64	65	64	65	61	66	67	73	56	54	63	766	63.8

院内助産	26	25	29	21	22	19	21	11	29	19	14	17	253	21.1
無痛	9	5	6	8	4	5	8	8	6	8	2	7	78	6.3
正常	6	4	3	7	4	4	6	7	5	9	1	6	62	79.5%
吸引	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	4	5.1%
帝王切開	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	6	7.7%
鉗子	2	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	6	7.7%

2-4 精神科救急医療

1 事業概要

「神奈川県精神科救急医療に関する実施要綱」に基づき、4 県市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）が協調して、精神科救急医療を提供している。

当院は、「基幹病院」として、精神科3次救急（自傷・他害の恐れがある患者）の受入を中心に、2次救急の受入も行っている。

- ・警察官あるいは行政職員が同伴して受診。
- ・受け入れ時間

平日（深夜当番日を除く） 17：00-22：00

休日（深夜当番日を除く） 8：30-22：00

深夜当番日（毎週水曜・月1-2回の月曜）

平日 17：00-翌8：30 休日 8：30-翌8：30

2 平成24年度実績

- ・二次救急患者数：診療のみ0人、入院患者数7人
- ・三次救急患者数：措置診療のみ12人、措置入院37人、医療保護入院2人
- ・平均在院日数：16.8日
- ・転帰内訳：転院34人、在宅5人、その他0人

3 目標に対する評価

精神科身体合併症・救急入院料を算定するには年間30件の措置入院を受け入れる必要がある。平成24年度も30件以上を目標としていたが、40件超の措置入院を受け入れた。

4 次年度以降の取り組み。

24年度と同様に30件以上の措置入院受け入れを目指す。

5 執行体制

- ・部長 石東嘉和、副部長 嶋津奈、その他医師5名。
(うち精神保健指定医 5名)
- ・師長1人、看護師25人（1日あたり夜勤看護師数4人）
- ・精神保健福祉士数3人（専任）

2-5 精神科身体合併症医療

1 事業概要

「神奈川県精神科救急身体合併症転院事業実施要綱」に基づき、4 県市（神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市）が協調して実施している。。

横浜市内では、当院の他に 2 病院（横浜市立大学市民総合医療センター、済生会横浜市東部病院）が実施病院となっている。

対象患者等は以下のとおり。

- ・対象患者は、県内の精神科病院に入院中の患者。
- ・当院入院目的は身体疾患治療。
- ・入退院には横浜市が介在し調整
- ・受け入れは平日昼間。

2 平成 24 年度実績

- ・受入れ患者数：75 人
- ・受入医療機関数：29 病院
- ・入院患者数：58 人
- ・平均在院日数：20.12 日
- ・転帰内訳：元の病院への転院 53 人、元の病院以外への転院 5 人、在宅 2 人、その他 1 人（死亡 1/入院中 0）

3 目標に対する評価

横浜市の当院への依頼件数は当初年間 70 件と想定されていた。平成 21 年度は 97 件と多かったが、ここ数年はおよそ 70 件前後と落ち着いて来ている。

しかし、神奈川県内の身体合併症のおよそ 8 割を当院が受け入れているのが現状であり、当院なくしてはこのシステムは成り立たない。

4 次年度以降の取り組み

引き続き速やかな受け入れを行い。70 件程度の受け入れを目標とする。

5 執行体制

「2-4 精神科救急医療」参照。

2-6 緩和ケア医療

1 事業概要

(1) 緩和ケア病棟病床数

25床 全個室

特別個室 12床

無料個室 13床

(2) 入院対象

- ・がんなどの悪性疾患で終末期(余命6カ月以内)にある方
- ・患者と家族が病名やまたは病状を理解して緩和ケアの入棟を希望する方
- ・病状が悪化し、在宅での生活が困難になった方
- ・入院対象にある疾患でかつ在宅で過ごしている方で、家族の休息のための短期入院を希望する場合

(3) 入院までの手続き

- ・電話で外来の予約(必要書類を自宅へ郵送)
- ・必要書類を準備し、外来受診(家族の代理受診可)
- ・病棟内での判定会議後、待機状況について連絡
- ・入院決定したら連絡

(4) 緩和ケア病棟の役割

- ・横浜市民のための緩和ケアの提供
- ・症状緩和を中心とした医療提供
- ・在宅生活や介護生活の疲労の軽減
- ・終末期の安心で安寧な生活の提供
- ・地域と連携し在宅療養を支援

(5) 緩和ケアチームの役割

- ・一般病棟で緩和ケアを必要とするがん患者に、がん疼痛をメインとした症状コントロールと精神的な支援を多職種と協働しながら提供する

2 平成 24 年度緩和ケア病棟実績

(1) 緩和ケア病棟実績

		平成 23 年度	平成 24 年度
入院患者	実数	197 名	156 名
	延べ数	7,432 名	6,229 名
平均在院日数		38.0 日	39.8 日
患者実数	男	101 名	82 名
	女	96 名	74 名
平均年齢		73.7 歳	74.0 歳
退院内訳	退院	19 名	21 名
	死亡	168 名	136 名
緩和ケア病棟への入院経路	院内転棟	100 件	104 件
	市内医療機関からの紹介	40 件	22 件
	外来より	57 件	30 件
入院患者の居住別	市内	197 名	152 名
	県内	0 名	4 名
	県外	0 名	0 名
ボランティア延べ人数		91 名	97 名

(2) 平成 23 年度、24 年度緩和ケアチーム実績

		平成 23 年度	平成 24 年度
緩和ケアチームへの依頼数	新規	141 件	139 件
	継続	12 件	6 件
	延べ件数	3,199 件	2,536 件

緩和ケアチームへの依頼内容

疼痛・吐き気・呼吸困難などの身体ケアが 70%

せん妄・抑うつ・不眠などの精神的ケアが 24%

3 目標に対する評価

- ・少ないスタッフで、緩和ケア病棟の安定した運営と、緩和ケアチームによる診療を維持できた。
- ・平成 25 年 2 月にみなとセミナーで緩和ケア講演会を開催でき、緩和ケア啓蒙にも貢献できた。
- ・緩和ケア研修会を通し、病院スタッフ(一部院外も参加)の緩和医療の意識の向上に寄与できた。

4 次年度以降の取組み

- ・スタッフの増員を図り、緩和ケア病棟の安定した運営、緩和ケアチームによる診療継続、緩和ケア啓蒙活動を引き続き行い、緩和医療の充実、病院スタッフの緩和医療に対する意識の向上を図りたい。
- ・学会への参加、緩和ケア講演会の開催、緩和ケア研修会の実施、緩和ケア内科研修医の教育を通して、上記目標を達成したい。

5 執行体制

	(平成 24 年度)	(平成 25 年度)
センター長	大谷洋一	小尾 芳郎
医師	萩 成行(放射線科兼任)	大谷洋一(放射線治療科兼任) 藤井 由貴
非常勤医師	3 名	2 名
師長	角藤 厚美	角藤 厚美
常勤看護師	21 名	20 名
非常勤看護師	1 名	2 名
クラーク	1 名	1 名

【緩和ケアチーム体制】

専従緩和ケア医師	1 名
精神科医師	1 名
専従看護師	1 名
薬剤師	1 名

2-7 アレルギー疾患医療

1 事業内容

免疫・アレルギー疾患（気管支喘息、アナフィラキシー、食物・薬物アレルギー、花粉症、リウマチ・膠原病など）は国民の3分の1が罹患しているにもかかわらず、臓器別では対応できない全身性疾患であることや診療点数の不採算性から、我が国では純粹の「アレルギー科」としては存在が不可能とされる。その結果として、診断や治療が困難なアレルギー疾患（特に成人領域）の患者が受診すべき医療機関は極端に数が少なく、根拠のない誤った民間医療に翻弄されている現状である。

当院のアレルギーセンターは、この現状に対応すべく、①アレルギー診療：7診療科（アレルギー科、小児科、皮膚科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、眼科、膠原病・リウマチ内科）による横断的アレルギー診療、②アレルギーの教育と啓発：医療従事者と市民を対象とする講演会、セミナー、市民フォーラム、患者教室等の定期開催、③臨床研究：IT通信機器による遠隔医療や環境危険因子解析などの先進的医療・研究や新規薬剤開発治験などの事業に取り組んでいる。なお、アレルギー科、小児科、皮膚科の3診療科は、一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設に指定されており（3診療科の認定は全国で4施設のみ）、膠原病・リウマチ内科は一般社団法人日本リウマチ学会の認定教育施設に指定されている。

2 24年度実績

- ・外来アレルギー(延べ)患者数 16,230人
- ・呼気一酸化窒素測定 4,173件
- ・気道過敏性試験 55件
- ・プリックテスト 160件
- ・エピペン自己注射処方 117件
- ・7診療科合同カンファレンス（11回）
- ・アレルギー科・小児科・看護師による喘息カンファレンス（6回）
- ・アレルギー科・小児科・皮膚科・栄養課・看護師による食物アレルギーカンファレンス（6回）
- ・講演会（7回）、セミナー（2回）、市民フォーラム（2回）
- 患者教室（10回）、小児喘息・アレルギーキャンプ（1回）
- ・開発治験（6件）、自主臨床試験（21件）

3 目標に対する評価

7 診療科による横断的診療であるため、総合評価は困難であるが、中心的存在であるアレルギー科の外来通院患者数は約 800 名（医師 2 名）と院内診療科別（医師一人あたりの担当数）では第 1 位であり、毎年増加中である。アレルギー疾患専門診療の評価指数とされるアナフィラキシーに対するエピペン自己注射の処方数は横浜市の医療機関では第 1～2 位である。（社）日本アレルギー学会では常に指導的立場にあり、教育講演などの依頼が多い。

4 次年度以降の取り組み

さらなる「質」の向上をめざし、（研修医を含めて）優れた人材の確保に努めたい。

5 執行体制

・アレルギーセンター長（総合アレルギー内科部長）	1 名（専任）
・喘息アレルギー内科部長	1 名（専任）
・アレルギー小児科医長	1 名（併任）
・アレルギー内科非常勤医師	2 名（週 1 回）
・アレルギー科以外の医師	6 名（併任）
・アレルギーセンター看護師	2 名（交代制）
・アレルギーセンター検査技師	1 名（交代制）
・アレルギーセンター研究補助員	2 名（専任）
・アレルギーセンター事務主事	1 名（専任）
・アレルギーセンター受付事務	1 名（派遣）

6 データ（平成 22～24 年比較）

	22 年度	23 年度	24 年度
1) 外来アレルギー患者(延べ)数		16,646 人	16,230 人
2) 講演会	2 回	2 回	7 回
3) セミナー	1 回	2 回	2 回
4) 市民フォーラム	3 回	2 回	2 回
5) 患者教室	11 回	8 回	10 回
6) 小児喘息キャンプ	1 回	1 回	1 回
7) 誌上発表	15 件	20 件	20 件
8) 学会発表	30 件	19 件	30 件
9) 新薬開発治験	9 件	9 件	6 件
10) 自主臨床試験	15 件	14 件	21 件

2-8 障害児者合併医療

1 事業概要

障害児者合併症医療とは、当院において行われる障害児者への医療提供が円滑に行われることを目的とし、障害児者医療検討委員会を開催し、その内容を検討する。

2 24年度実績

- ・障害児者医療検討委員会 年4回開催 (5/2、7/4、11/7、2/6)
- ・院内研修 1/17 講演「ママとおうちと病院と」
- ・横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステム 2名受入

3 目標に対する評価

継続医療患者への適切な医療を提供する事ができ、院内職員を対象に外部講師による講演を実施したことにより障害児者への理解を深めることができた。

また、平成24年7月より開始した、横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの協力病院として貢献した。

4 次年度以降の取り組み

- ・継続医療患者への医療提供
- ・職員への研修啓発のため、院外研修を企画
- ・横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムへの協力

5 執行体制

責任医師 小児科部長 菊池信行

担当医師 小児神経科部長 大澤由記子

連携部署 各診療科担当医6名、病棟看護師1人、外来看護師1人、在宅支援看護師1人、理学療法士1人、医療ソーシャルワーカー1人、事務2人

6 データ

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
入院患者述べ人数	302名	337名	
入院患者実人数	14名	15名	
1患者当りの入院回数	1~9回	1~10回	
年齢	1~40歳	2~43歳	

2-9 災害時医療

1 事業概要

当院は災害医療拠点病院、神奈川DMAT指定病院としての機能を十分に発揮し、赤十字の使命である災害救護活動を積極的に実践するため、平時から災害救護訓練を積極的に実施し準備している。

2 24年度実績

災害救護に関する訓練・研修会等への実施・参加状況

	会議訓練等名称	概要	主催	会場	実施日	当院参加者
1	九都県市合同防災訓練(横浜会場)	九都県市と関係機関、市民が連携して災害対応力の向上を図る。	九都県市(幹事:横浜市)	みなとみらい21地区耐震バース他	9/1	救護班要員6名、DMAT隊員4名
2	航空機事故対処総合訓練	航空機事故での消火、救助、救護活動を迅速、的確に実施する。	東京国際空港緊急計画連絡協議会	東京国際空港	9/13	救護班要員6名
3	ビッグレスキューかながわ	広域応援体制の確立と県民の防災意識の高揚等を目指す。	神奈川県	陸上自衛隊武山駐屯地	9/16	救護班要員6名
4	支部救護班要員教育訓練Ⅰ、Ⅱ	赤十字の災害救護業務を理解し、救護活動の知識、技術を習得し、被災地で活動できる救護班要員を養成する。	日本赤十字社神奈川県支部	Ⅰ: 県支部 Ⅱ: いこいの村あしがら	Ⅰ: 9/19 Ⅱ: 9/27-28	救護班要員8名

5	日本赤十字社本社・第2ブロック支部災害救護訓練	第2ブロック管内で災害が発生した場合の広域支援活動、相互連携、統制のとれた救護活動を行うことを目的とする。	日本赤十字社本社・第2ブロック支部	とちぎ福祉プラザ、旧大田原赤十字病院	10/11-12	視察：救護指導者、救護担当者3名
6	DMA T 関東ブロック訓練	被災地での緊急治療、病院支援、広域医療搬送等の実践的訓練を実施する。	日本DMAT	茨城県内の災害拠点病院等	11/9-10	DMA T 隊員1名
7	秦野赤十字病院総合防災訓練	病院職員の医療救護活動の習熟と防災意識の高揚を図り、災害時の初動対応、応急対応を検証する。	秦野赤十字病院	秦野赤十字病院	11/12	視察：救護担当者1名
8	救護看護師養成研修会	赤十字救護看護師として必要な知識、技術を習得することを目的とする。	日本赤十字社神奈川県支部	日本赤十字社神奈川県支部	11/13 11/21	看護師23名
9	関東ブロックDMAT技能維持研修	DMAT活動に必要な知識・技術の維持、資質の向上を目的とする。	日本DMAT	県西地域県政総合センター	11/23-24	DMA T 隊員1名

10	災害対策本部設置・情報収集訓練	災害発生時に速やかに災害対策本部を設置して情報収集を行い、初動対応能力の向上を目的とする。	横浜市立みなと赤十字病院	横浜市立みなと赤十字病院	12/3	院内全体
11	旅客船事故対応訓練	客船が座礁した場合を想定し、官民一体となった事案対応能力の向上を図る。	海上保安庁	京浜港横浜区新港ふ頭、横浜市立みなと赤十字病院	12/5	救護班要員8名、病院での受入れ担当職員4名
12	神奈川県・県西地域2市8町合同図上訓練	神奈川県西部地震を想定し、県と県西地域の市町との連絡調整を強化し、災害対策本部等における対応能力の向上を図る。	神奈川県・県西地域2市8町	神奈川県庁	1/17	DMAT 隊員3名
13	救護員対象こころのケア研修	被災者、救護員が被る心理的影響の特性と、こころのケアの必要性を理解し、被災者、救護員自身の心のケアに関する対処方法を習得する。	日本赤十字社神奈川県支部	日本赤十字社神奈川県支部	2/7	16名

14	日本赤十字社医療センター・東京都支部合同多数傷病者受入訓練	首都直下型地震に備え、多数傷病者の受入れと支援受入れ、他機関との連携を図る。	日本赤十字社医療センター・東京都支部	日本赤十字社医療センター	2/9	視察：救護指導者、救護担当者等5名
15	災害対策本部設置・情報収集訓練	災害発生時に速やかに院内に災害対策本部を設置し、指揮命令系統の確立と情報収集を行い、初動対応能力の向上を目的とする。	横浜市立みなと赤十字病院	横浜市立みなと赤十字病院	2/15	院内全体
16	横浜市立みなと赤十字病院総合防災訓練	災害時に病院の機能を十分發揮して傷病者の受入れを行い、外部医療救護班や関係機関との連携を確認し災害対応能力の向上を図る。	横浜市立みなと赤十字病院	横浜市立みなと赤十字病院	3/3	訓練参加者約350名
17	関東ブロックDMAT技能維持研修	DMAT活動に必要な知識・技術の維持、資質の向上を目的とする。	日本DMAT	済生会宇都宮病院	3/9-10	DMAT隊員2名

3 目標に対する評価

【目標①】当院を会場に総合防災訓練を実施

大規模災害発生時に、部署内で必要な行動を記載した「アクションカード」を作成した。そのアクションカードを使用して、災害対策本部設置・情報伝達訓練を2回実施した。

3月3日には当院職員の他に、神奈川DMAT7チーム、横浜市消防局、赤

十字防災ボランティアにご参加いただき、参加者約350名の総合防災訓練を実施した。訓練に先立ち、トリアージや搬送等の勉強会を実施し、多くの職員が参加した。訓練の実施により、職員の知識・技術の向上、防災意識の高揚につながった。

【目標②】日本赤十字社、地方自治体等の防災訓練への参加

平成24年度も多数の訓練に、救護班、DMATで参加した。また、海上保安庁と連携し、旅客船座礁事故を想定した訓練に初めて参加した。旅客船事故を想定した訓練は非常に珍しく、当院の立地を考えると非常に良い経験となった。

【目標③】DMAT隊員養成研修に引き続き申込み、隊員の増員

平成24年度も隊員養成研修会に毎回申し込んだが、チーム受講、個人受講ともに抽選に漏れて受講できなかった。隊員の交代や勤務状況を考えると隊員数が少ない状況であり、特に業務調整員は1名なので、来年度以降も養成研修会への申し込みを継続する。

4 次年度以降の取組み

平成25年1月に災害発生時の病院の統制をはじめ、病院内外の対応、連携等を整備し、訓練と検証をより活発に行って災害対応能力の向上を図るため、「防災対策委員会」の下部組織として「災害対策検討委員会」を設置した。

平成25年度以降は、災害対策検討委員会で防災マニュアルの見直しや防災訓練、研修会等を実施していく。特に全職員が訓練や研修会に参加するような体制を作っていく。

5 執行体制

(1) 災害対策検討委員会

	職名	氏名
委員長	救急部部长	伊藤 敏孝
副委員長	事務部部长	小山田 茂夫
副委員長	看護部部长	鈴木 恵子
委員	6D病棟看護師長	宮内 まゆみ
委員	手術室看護師長	永井 妙子
委員	総務課長	大堀 浩
事務局長	会計課長兼施設課長	三橋 文武
事務局	外来業務課外来係長兼社会係長	高野 雄太
事務局	外来業務課主事	鈴木 直子

※委員会の作業部会としてワーキンググループを設置

(2) 災害救護に関する業務の主管課

外来業務課社会係

外来業務課長 津々楽 泰江

外来係長兼社会係長 高野 雄太

外来業務課 主事 鈴木 直子

(3) 救護指導者等

救護指導者

救急部部长 伊藤 敏孝

看護師長 永井 妙子

救護担当者

看護師 島田 哲史

外来業務課外来係長兼社会係長 高野 雄太

外来業務課主事 鈴木 直子

6 データ

常備救護班 7 班

DMA T 隊員 9 名 (医師 4 名、看護師 4 名、業務調整員 1 名)

救急車 2 台

災害救護車両 1 台

救護班用医療セット 1 式

DMA T 標準医療資機材 1 式

日赤業務無線機等 1 4 台

衛星電話 1 台 (庁舎設置)

衛星携帯電話 2 台 (可搬型 1 台、救急車積載 1 台)

簡易ベッド 5 4 0 台

NBC 災害除染セット 1 式

エアーテント 1 式

イージーアップテント 2 式

発動発電機 4 台

職員用非常食 1,000 食

2-10 市民の健康危機への対応

1 事業概要

「新型インフルエンザ等感染症」による市民への健康危機へ対応するため、横浜市新型インフルエンザ対策医療関係者協議会の方針に則り、診療体制等を整備する。

2 24年度実績

- ・横浜市新型インフルエンザ対策医療関係者協議会2回、同専門部会2回に出席。
- ・「新型インフルエンザ等発生時における帰国者・接触者外来の開設等に関する協定」を横浜市他と締結。
- ・資器材整備として搬送用ベンチレーター、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡エアウェイスコープを補助金にて購入。医療従事者予防内服用抗インフルエンザ薬約300人分を補助金にて購入。

3 目標に対する評価

協議会、専門部会に出席し関係者との意見交換を行えた。予定通り資器材及び抗インフルエンザ薬の購入ができた。

4 次年度以降の取組み

今後策定される、国、神奈川県、横浜市の行動計画をもとに、当院の新型インフルエンザ等に対する対策マニュアルを整備する。資器材・抗インフルエンザ薬の整備を進める。

5 執行体制

横浜市新型インフルエンザ対策医療関係者協議会メンバー 四宮病院長。
同専門部会メンバー 膠原病リウマチ内科部長 萩山裕之

3 指定管理者独自の取組み

3-1 がんセンター

1 事業概要

がんなどの悪性腫瘍は我が国の死亡原因の第一位であり、全死亡の3分の1を占めている。このような状況において、「がん対策基本法」が施行され、がん診療体制の一層の整備が進められつつある。

当院では、がん診療の体制を更に充実させ、患者さん一人ひとりに最先端の情報と高度の医療を提供できるように平成23年11月に「がんセンター」を開設した。また、平成24年4月1日付けで、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた。

従来縦割りの診療ではなく、患者さん中心の全診療科、看護、薬剤、コメディカルなど、それぞれの専門職種による総合的なチーム医療を「がんセンター」において実践する。また、地域の医師会、訪問看護ステーションなどの協力を頂き、病院から近くのクリニックそして家庭まで、切れ目のない充実したがん診療を提供できる体制を構築していく。

2 平成24年度実績

- ・2011年院内がん登録1025件
- ・外来化学療法4108件
- ・がん相談件数668件

3 目標に対する評価

以下の事業に取り組み、大きな成果を挙げることができた。

- ・地域がん診療連携拠点病院の指定
- ・化学療法センターの増床（8→24床に移転新設）、
- ・健診センターのCT/MRIによる「がん検診」の予約枠拡大
- ・悪性腫瘍の診断能力向上のためのPET/CTの設置
- ・がんセンターボードの開催
- ・がんセンター講演会（延9回）
- ・スキルラボの設置
- ・がん相談支援の対応と「がんサロン」の立ち上げ準備
- ・多施設共同臨床試験（研究）への参加
- ・国・県及び4部会等との連携
- ・近隣病院との情報交換による状況調査
- ・緩和ケア病棟の診療体制・
- ・緩和研修会の開催

- ・ 専門医等資格調査
- ・ 院内がん登録
- ・ 治療成績の集計及び発表
- ・ がんセンターホームページの立ち上げ

4 次年度以降の取組み

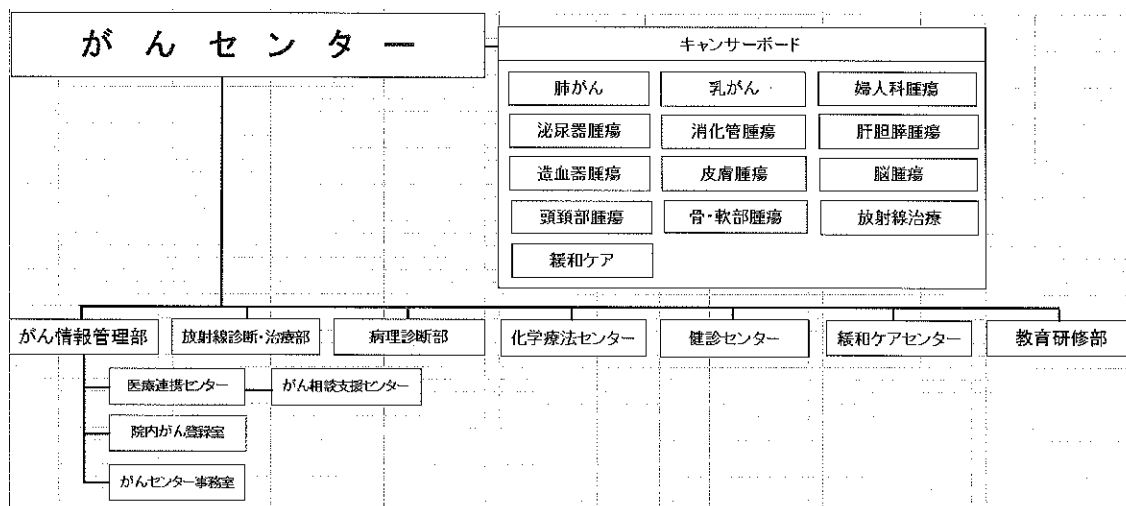
- ・ PET/CTの共同利用推進
- ・ 5大がんパス等による地域医療連携強化
- ・ キャンサーボード等の充実
- ・ 乳腺外来、禁煙外来の運営
- ・ 「みなとサロン」の運営
- ・ がん患者食の導入

5 執行体制

(がんセンター運営委員会)

センター長 (1)、副センター長 (1)、センター長補佐 (2)、医師 (16)、
看護 (2)、中央部門 (5)、事務 (6) 合計 33 人

(組織図)



3-2 地域周産期母子医療センター

1 事業内容

平成 24 年 7 月 25 日付で地域周産期母子医療センターに指定された。

産科と小児科（NICU）の協力のもと、他の産科施設からの母体搬送の受け入れを中心として、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として周産期医療にかかわる。

母児ともによりよい状態での出産を目指して医療を実践することにより、横浜市民に安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する。

なお、母体搬送受け入れの基準は妊娠 30 週以降、推定体重 1250g 以上としている。

2 24 年度実績

母体搬送受け入れ数；14 例

3 目標に対する評価

母体搬送受け入れ数は、14 症例であった。

NICU6 床で運用しており、出生後の NICU 平均入院日数は 29 日である。出生週数が早くなると入院期間が長くなり NICU を占拠することにつながってしまうため、母体搬送受入数は年間 13 件より 14 件に増加したのみであった。

分娩数が年間 851 件に増加したため院内発生の早産も増加した。このため、NICU を院内発生早産児が使用することが多くなり、母体搬送受け入れが困難なときがある。

しかしながら NICU の稼働は上昇し、母体搬送を多く受け入れられたかどうかは別として、「横浜市民に安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という、事業目標は達成していると考えられる。

4 次年度以降の取り組み

GCU を増設したり、GCU に替わる病床として運用できる病床を確保することにより NICU の稼働を効率化すると考えられる。

GCU 増設に関しては必要性を検討して、投資に見合う収益が見込めるか、どこに増設するか、増設した場合の人員の確保（NICU の稼働が上がることも見込んでの小児科医師、看護師）が見込めるかどうか、について検討する必要がある。

また、増設するにしても、それまでの間は運用面での工夫で、母体搬送を少しでも多く受け入れられるように努力する。

5 執行体制

地域周産期母子医療センター責任者；四宮謙一 病院長

産婦人科部長 多田聖郎

小児科部長 菊池信行

6 データ

別紙「平成 22 年度～平成 24 年度の母体搬送受入数及び新生児搬送受入数」参照のこと。

平成22年度～平成24年度の母体搬送受入数及び新生児搬送受入数

母体搬送受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成22年度	0	1	0	0	1	1	0	1	2	1	1	3	11
平成23年度	1	0	1	3	1	2	2	0	1	0	0	2	13
平成24年度	0	0	1	0	0	1	2	3	3	0	4	0	14

新生児搬送受入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成22年度	3	2	0	1	1	1	1	1	3	3	1	1	18
平成23年度	0	1	1	1	3	2	0	2	0	2	0	0	12
平成24年度	4	1	1	3	1	1	0	0	1	0	0	1	13

4 地域医療の質の向上に 向けた取組み

4-1 医療における安全管理

1 事業概要

医療安全及び感染対策について、以下のことを実施する。

- ・マニュアルの管理及び職員への周知。
- ・研修の企画・運営。
- ・インシデントレポートの収集と分析を行い情報提供とともに対策立案。
- ・情報（外部からの文書含む）周知
- ・相談業務、ラウンド。
- ・委員会等の運営及び事務局

2 24年度実績

- ・マニュアルの改訂。職員、委託業者への周知。
- ・研修会実施。
- ・情報（外部からの文書含む）周知
- ・インシデントレポートの収集と分析を行い情報提供とともに対策立案。
- ・相談業務対応。毎週ラウンド実施。
- ・委員会等開催。議事録の管理。

3 目標に対する評価

(1) 医療安全管理

ア 医療安全の知識習得と感性の向上

第2回全職員対象の研修会は職種別を実施した。講義内容は、より対象者にマッチしたものとなり終了後アンケートでも満足感が高かった。参加率は67%と上昇した。

イ 安全な医療の提供

- ・転倒・転落、与薬手順の定期的な調査が注意喚起となりその後の発生件数が低下した。また、看護部RMによる分析結果を各部署にフィードバックし、今後の対策に反映させたことは効果的であった。
- ・各RMが中心となりインシデントに関するカンファレンスを実施できている。
- ・気管内チューブ抜去防止のために具体的な対策物品としてETC02の機種や、救急カートへのCO2チェッカー導入に向けて検討できた。

ウ マニュアル活用

- ・定期的に見直し、リスクマネージャー委員会で周知した。

(2) 感染対策

ア 標準予防策・感染経路別予防策の徹底

- ・ICTラウンドを毎週実施し、問題点を現場にフィードバックした
- ・感染講演会実施。

イ サーベイランスによるアウトブレイクの特定

・BSIサーベイランス、UTIサーベイランス継続。SSIサーベイランス：平成25年1月より定期化。JANISサーベイランス：検査部門・入院部門継

続。MRSA 検出患者サーベイランス：継続。

サーベイランスではアウトブレイクは特定されなかった。

ウ 抗生物質の適正使用：特定抗生物質使用届け後のフォロー

年度の特定抗菌薬の届出率は65%であり、昨年度と同じであった。また、1週間以上の長期使用患者に対しては主治医と部長に適正使用を促した。起炎菌や感染症名から、不適切な使用と考えられる場合にはICDから主治医に適正使用を促した。

4 次年度以降の取組み

(1) 医療安全管理

年度テーマ：チーム医療の推進

ア 医療安全の知識習得

- ・コミュニケーション力の向上に取り組む。

イ 安全な医療の提供

- ・チューブ抜去対策検討
- ・身体抑制に関する院内ルールの検討
- ・転倒・転落/薬剤エラーに関する調査

ウ マニュアル活用

(2) 感染対策

ア 標準予防策・感染経路別予防策の徹底

イ サーベイランスによるアウトブレイクの特定：BSI、UTI、SSI。JANIS。MRSA。

ウ 抗菌薬の適正使用：特定抗菌薬使用届け後のフォロー

エ 針刺し防止：安全機能付き器具の使用推進

オ リンクナースの活動支援

カ 地域連携への取り組み

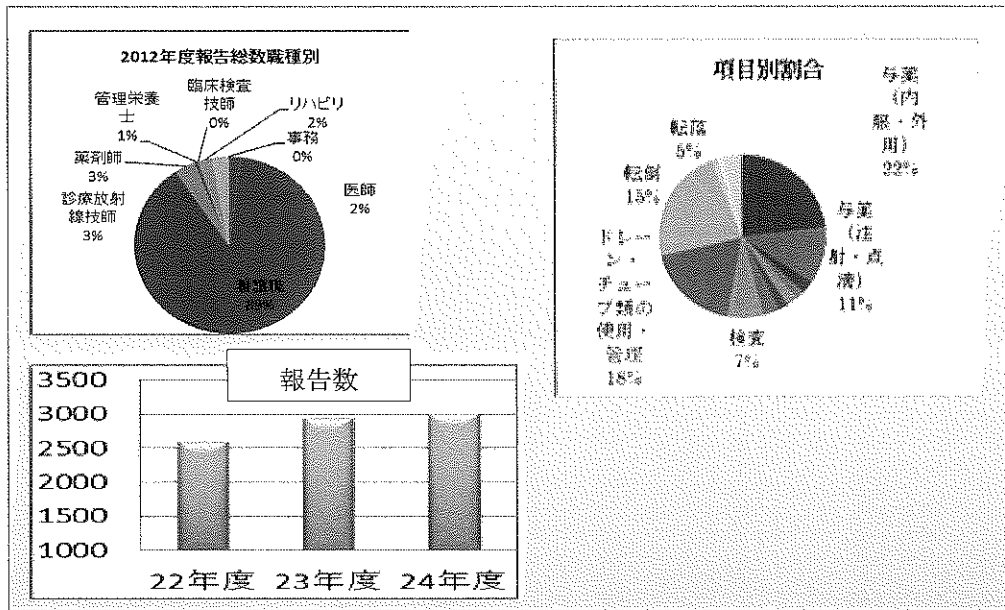
キ 感染症関連施設認定、資格取得

ク 流行性ウイルス疾患抗体価検査の推奨

5 執行体制

- ・安全管理委員会、リスクマネージャー委員会、身体抑制検討チーム、チューブ抜去対策チーム、医療安全推進課長
- ・感染対策委員会、ICT、医療安全推進課

6 データ



4-2 医療倫理に基づく医療の提供

1 事業概要

当院において行われる医療行為及び医学研究が倫理的、社会的観点から適切に行われることを目的とする。医療行為及び医学研究をめぐる生命倫理上の事項、および具体的な個々の医学研究の実施に関して申請のあった事項について審議する。

2 24年度実績

	医療倫理委員会開催日	議題	審議結果
1	平成24年4月13日	MMP-7による椎間板ヘルニア消化作用の検討(試験期間の延長)	文書承認
2	平成24年6月11日	認知機能検査バッテリーによる認知症疾患のスクリーニングに関する研究 血管炎発症リスク群患者遺伝子に関する研究	承認
3	平成24年6月8日	前立腺上皮細胞内の色素顆粒に関する電子顕微鏡的研究	文書承認
4	平成24年7月23日	合併症を有する慢性腎臓病患者におけるL-カルチニンの有効投与量の検討 結核性腎臓病に伴う難治性産膿に対するピガバトリン治療	承認 未承認
5	平成25年3月11日	ファブリー病スクリーニング 血管内カテーテルコロニゼーションに対するクロルヘキシジンの有効性の検討 結核性腎臓病に伴う難治性産膿に対するピガバトリン治療	承認

3 次年度以降の取組み

次年度以降は自主臨床研究審査委員会を発足させ、自主臨床研究については当該委員会で審査し、結果を倫理委員会に報告するものとする。

4 委員

	委員名	役職・性別・任命月日・委嘱期限等
1	小森 博達	委員長(副院長)・男・平成17年4月1日任命
2	高橋 誠司	外部委員(元神奈川県立保健福祉大学教授)・男・平成24年4月1日任命
3	田中 治	外部委員(弁護士)・男・平成24年4月1日任命
4	中村 陽一	委員(アレルギーセンター長)・男・平成17年4月1日任命
5	山本 晃	委員(内科部長)・男・平成18年4月1日任命
6	石束 嘉和	委員(精神科部長)・男・平成17年4月1日任命
7	伊藤 理	委員(形成外科部長)・男・平成17年4月1日任命
8	福家 修子	委員(看護師長)・女・平成22年4月1日任命
9	小笠原 利枝	委員(看護部付看護師長)・女・平成18年4月1日任命
10	高橋 弘充	委員(薬剤部長 院長補佐)・男・平成17年4月1日任命
11	大堀 浩	委員(総務課長)・男・平成23年5月1日任命

4-3 地域医療機関との連携・支援（地域医療連携課分）

1 事業概要

地域医療連携課として以下の事業を行う。

- ・地域医療支援委員会
- ・大腿骨頸部骨折地域医療連携パス合同委員会
- ・脳卒中地域医療連携パス合同委員会
- ・みなとセミナー
- ・4区医師会・みなと赤十字病院合同研究会
- ・みなと市民セミナー
- ・地域医療連携交流会
- ・みなとからの風発行
- ・HPの開設
- ・紹介患者外来予約
- ・高度医療機器共同利用夜間CT・MRI、造影CT、PET/CT、骨密度検査）の開始

2 24年度実績

- ・地域医療支援委員会…4回開催
- ・大腿骨頸部骨折地域医療連携パス合同委員会…3回開催
- ・脳卒中地域医療連携パス合同委員会…3回開催
- ・みなとセミナー…20回開催
- ・4区医師会・みなと赤十字病院合同研究会…1回開催
- ・みなと市民セミナー…3回開催
- ・地域医療連携交流会…6回開催
- ・みなとからの風…3回発行
- ・HPの開設…随時
- ・紹介患者外来予約…11,067件
- ・高度医療機器共同利用実績…1,398件

3 目標に対する評価

レベルの高い急性期医療を提供するため、地域医療機関とそれぞれ医療機能の分担、連携協力体制を強化し、紹介率・逆紹介率の向上に努めた。

地域医療支援病院として、近隣診療所の支援および地域医療の質向上のためにも、近隣医師会、登録医等関係医療機関との合同研究会、地域医師を対象としたセミナーを開催し、顔の見える医療連携を推進した。

4 次年度以降の取組み

平成25年度は、救命救急センター、がんセンター、周産期母子医療センターを掲げる病院として、地域医療機関との役割分担、医療連携を推進する。

また地域医療支援病院として引き続き、登録医をはじめ地域医療機関との医療連携を強化し、紹介率・逆紹介率を維持し、地域医療機関を支援する地

域連携を構築する。

5 執行体制

医療連携センター長 持松 泰彦

地域医療連携課長 欠員

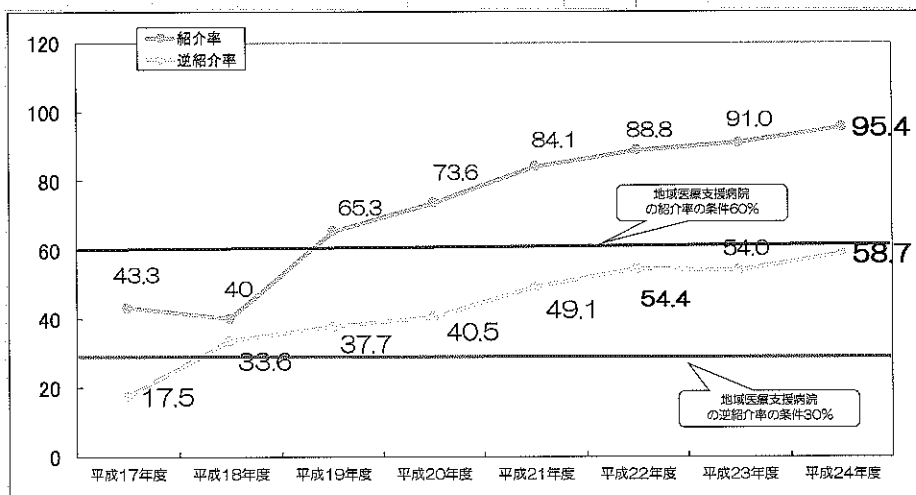
同 係長 北村 聖奈

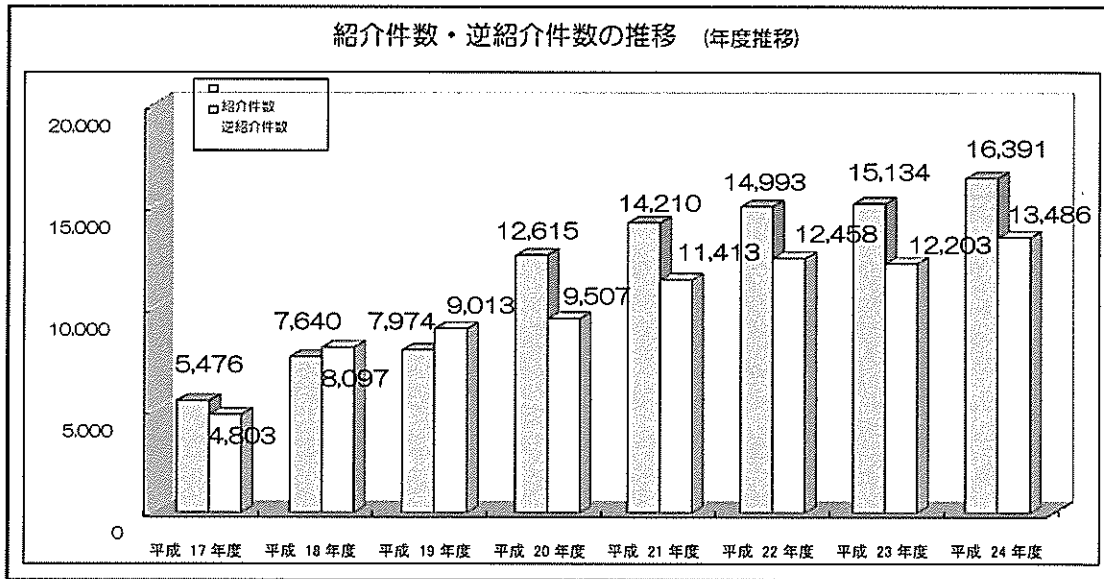
同 主事 篠原 美里

同 嘱託 菊池 孝子

6 データ

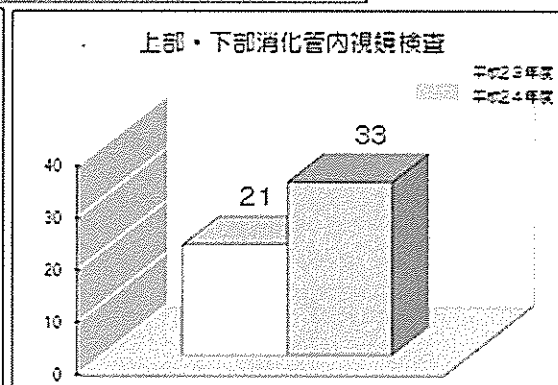
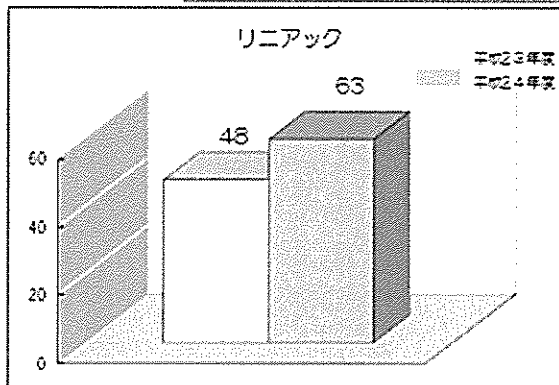
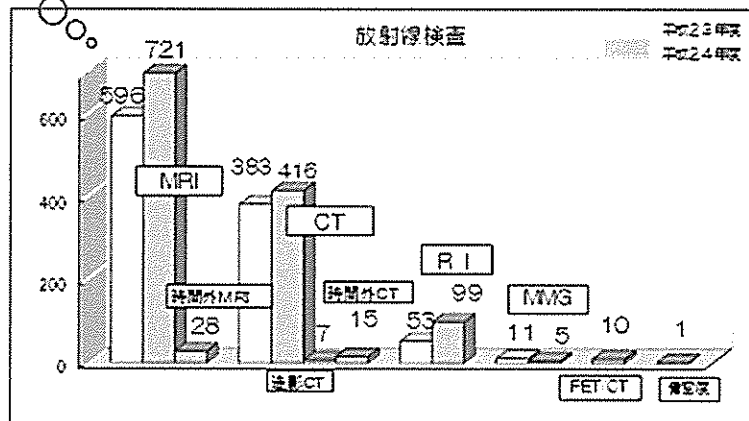
紹介率・逆紹介率の推移
(年度推移)



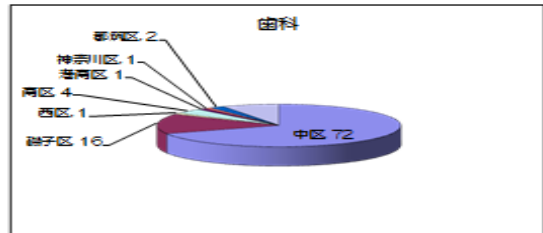
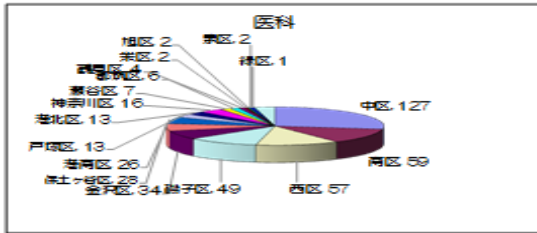
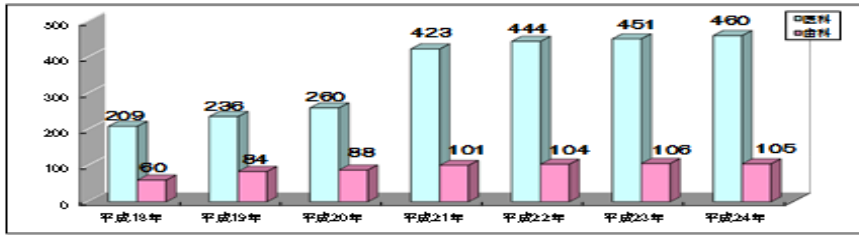


・放射線科MRI・CT
 ・泌尿器科
 ・呼吸器科
 ・皮膚科

高度医療機器共同利用状況

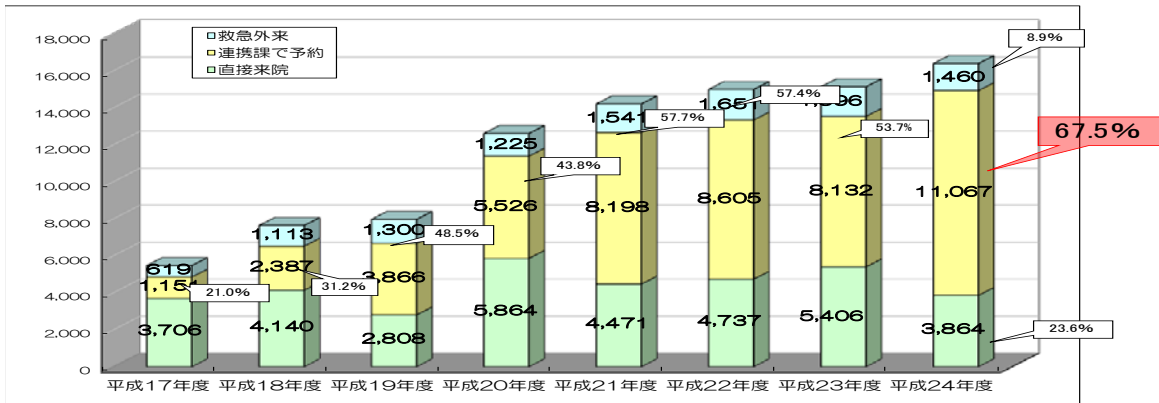


登録医療機関状況

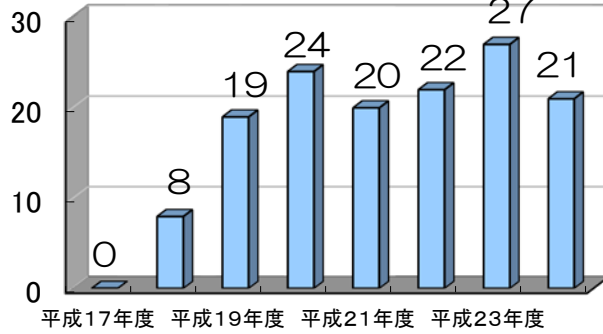


紹介方法別紹介件数推移

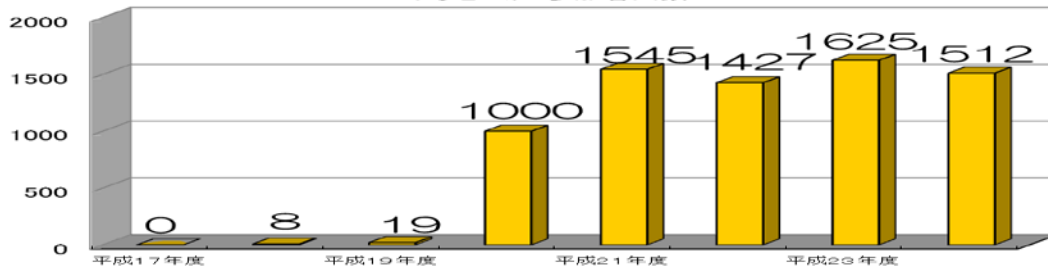
平成24年4月～平成25年3月



みなとセミナー開催回数



みなとセミナー参加者人数



4-4 地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室分）

1 事業概要

医療連携センターは、横浜市立みなと赤十字病院が地域の求める医療機能を効果的、効率的に果たし、医療を必要とする患者・家族が安心して生活できるように、病院内および地域医療福祉機関等との連携・協働を推進し、地域医療の質向上に努める。多くの市民に質の高い医療を提供するとともに、患者・家族が希望する医療やケアを一貫して提供するためには、病院完結ではなく、地域医療機関をはじめとする保健福祉機関と密接な連携をとり、入院・外来を問わず市民が安心して医療を受けられるシステムを提供することが必要である。

「療養・福祉相談室」として、在宅療養相談や福祉医療相談を中心に、患者家族からのさまざまな相談を受け対処する。診療部門や看護部門とともに患者や家族の支援をする。また、がん患者の地域での支援体制を整備して、地域で安心して療養していただけるように、周辺のさまざまな調整をしていく。上記目的のため、療養・福祉相談室内にがん相談支援センターを設置し、院内院外の患者を問わず幅広く相談に対応する。

2 24年度実績

(1) 療養・福祉相談の実績報告（資料①）

年度実人数は若干の増加がみられるが、新規ケース 4090 件（前年度比 4% 減）となっており、内訳では新規外来患者の減少（前年度比 18% 減）が目立つ。その要因の 1 つは、これまで相談室として受けていたがん相談の一部ががん相談支援センターの相談件数として算出するようになったことが考えられる。転帰先は、在宅が最も多いことは変わりなく、一般病院、回復期リハビリテーション病院への転院割合が若干増加し、施設入所がその分減少している。算定関連で変化がみられたのは退院調整加算が前年度と比較すると 46% 減少し、大腿骨頸部骨折地域連携パスが 73% 増加した。

(2) 地域関係機関との取り組み（資料②）

地域関係機関との連携が不可欠であるこの部門として、様々な取り組みを行った。

- ① 様々な医療機関への訪問
- ② かいごの Wa という在宅介護関係機関の会合への参加、退院支援看護師の交流会への参加など、在宅療養支援に関する取り組み
- ③ 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの運用に向けた取り組みや障害者自立支援協議会への参加、中区 3 障害一体サービス提供施設建設委員会への参加など、障害児者に関する活動
- ④ 福利医療病院として、医療協ソーシャルワーカー会の全体会や委員会に参加
- ⑤ 精神科医療に関する活動として、合併症受入病院連絡会や精神保健業務連絡会、医事担当者会議等の参加により必要な情報収集、受入病院とし

での提言

- ⑥ 横浜脳卒中地域連携懇談会の参加や横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)、大腿骨頸部骨折パス合同委員会の当院での開催
- (3) 専門職育成への取り組み
14名の看護学生、1名の社会福祉学生、1名の精神保健福祉学生の実習を受け入れた。また、在職中の職員(社会福祉士資格保持者)が今年に精神保健福祉士の資格を取得した。
- (4) 専門職としての研鑽(詳細は2で挙げた資料の通り)
医療協、神奈川県MSW協会、神奈川県PSW協会や、その他自治体主催による各種研修を積極的に受講し、有資格者としての自己研鑽を図った。
また、神奈川県MSW協会研修委員、神奈川県PSW協会理事、研修委員、医療観察法における精神保健参与員、自立支援法障害程度区分認定審査会委員、障害者人権擁護モニター活動など、資格の専門性を生かし幅広い活動を通して業務に反映させた。
- (5) 院内他部署、あるいは地域関係機関に向けた取り組み
各職種の特性を生かし、様々な勉強会を開催した。6D病棟での退院支援についての勉強会、5A病棟での精神保健福祉法の勉強会、中区のケアマネを中心とした急性期病院についての勉強会など。

3 目標に対する評価

今年度中に達成する目標を以下の5つに設定した。

- (1) 大腿骨頸部骨折パス／脳卒中パスについて院内外の連携を深め、円滑な運用を進める。
→円滑な運用は推進できた。脳卒中パスについては51件と前年度と同様であったし、頸部骨折パスについては45件とプラス19件もの伸びであった。
- (2) 退院時共同指導や介護支援連携を積極的に行い、書式の院内運用、周知を進め、指導料の算定に結びつける。
→退院時共同指導の算定は17件と増加したが、そのほかの算定は減少した。算定の推進は次年度の課題に残る。
- (3) 精神科救急医療／身体合併症システムの円滑な運用に向け、院内外との連携を深める。
→精神保健福祉士の増員により、より一層精神科関連の相談援助、システム運用については円滑となった。四州市、他医療機関との連携も外部研修などで関係性を深めており、院内においても診療科、病棟の理解を深めることが出来た。
- (4) みなとセミナー「よりよい在宅療養支援をめざして part 6」を実施する。
→実施。多数の参加申し込みがあり人数制限を行う。それでも92名の院内外の参加者数があり、アンケート結果でも好評いただき、盛況な会となった。

- (5) がん拠点病院に必要とされる相談支援センターの体制を構築する（相談員研修の参加）。

→昨年度新たに MSW1 名が受講し、相談員研修 I・II の修了者は MSW3 名 PSW1 名、Ns2 名となった。

今年度中に着手する事項として以下の目標を挙げた。

- (1) 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステム運用に向け、院内外との連携を進める。

→システム運用を開始した。昨年度の実績として 2 件の受け入れを行った。

4 次年度以降の取組み

- (1) 大腿骨頸部骨折パス／脳卒中パスについて院内外の連携を深め、円滑な運用を進める。
- (2) 自宅退院の増加も踏まえ、退院時共同指導や介護支援連携をより積極的に行い、昨年度減少した指導料の算定に結びつける
- (3) 政策医療の一つでもある精神科救急医療／身体合併症システムの円滑な運用に向け、院内外との連携を深める。
- (4) みなとセミナー「よりよい在宅療養支援をめざして part7」を実施する。
- (5) がん拠点病院に必要とされるがん相談支援センターの体制を、相談員研修の参加などにより強化し、がんサロンの立ち上げ、定着を図る。
- (6) 横浜脳卒中・リハ連携研究会（Y-CIRCLE）を当院にて開催する。
- (7) 看護師、社会福祉士、精神保健福祉士の専門職養成のため、実習の場を提供する。

5 執行体制

医療連携センター長 持松 泰彦

医療連携副センター長 乾 尚美

療養・福祉相談室係長 金井 緑（PSW）*25年度より

MSW 5名（内1名は精神保健福祉士資格保持者） PSW 2名 Ns 5名

事務 1名

6 データ

資料③参照。

医療社会事業課 平成24年度報告書(資料①)

横浜市立みなと赤十字病院

(1)取扱人数

区分	人数	(前年度比較)
年度実人数	4466 人	+ 94
年度延人数	27926 人	+ 3,958

区分	実人数	
新規介入ケース	入院	2796 人 + 29
	外来	1294 人 - 283
終了ケース	4115 人	- 250

(2)新規ケースの紹介経路

区分	実件数	
医療職Ⅰ	420 件	- 44
医療職Ⅱ	9 件	+ 7
医療職Ⅲ	2086 件	+ 260
一般職Ⅰ	66 件	+ 13
一般職Ⅱ	7 件	+ 6
本人	257 件	- 43
家族・親戚縁者	358 件	- 149
院外関係者	833 件	- 196
近隣者・知人	2 件	- 2
ソーシャルワーカー	52 件	- 106
合計	4090 件	- 254

(3)取扱内容

区分	実件数	
家族関係の問題	598 件	- 71
介護・療養生活上の問題	1604 件	+ 135
経済に関する問題	641 件	- 103
日常生活上の問題	999 件	- 49
就労・職場の問題	36 件	+ 16
教育の問題	4 件	+ 2
医療の確保に関する問題	1885 件	- 55
人権に関わる問題	25 件	- 3
心理・情緒的問題	647 件	- 57
制度活用に関する問題	1031 件	- 75
その他	1184 件	- 122
合計	8654 件	- 382

精神科入院相談件数	345 件	- 9
がん相談(※)	106 件	- 1,261

*算定

急性期病棟等退院調整加算1(140点)	193 件	- 229
介護支援連携指導料(300点)	50 件	- 7
退院時共同指導料2(300点)	17 件	+ 16
3者以上退院時共同指導加算(2000点)	1 件	+ 0

*地域連携パス実施状況

大腿骨頸部骨折パス	45 件	+ 19
脳卒中パス	51 件	+ 0

(4)援助方法

方法	延件数	
面接	本人	7620 件 + 616
	家族等	4791 件 + 121
電話	本人	175 件 + 19
	家族等	5263 件 + 256
訪問	本人	29 件 + 26
	家族等	5 件 - 2
同行・同伴・代行	44 件	- 57
文書(電子メール、FAX含む)	2557 件	+ 40
情報収集	17055 件	+ 4,482
院内協議・院内カンファレンス	18335 件	+ 2,159
院外協議・院外カンファレンス	14086 件	+ 1,776
合同カンファレンス	611 件	- 118
その他	2402 件	+ 366
合計	72973 件	+ 9,684

(5)相談援助調整内容

内容	延件数	
家族関係に関すること	2765 件	- 346
在宅介護に関すること	6569 件	- 984
療養生活に関すること	11328 件	+ 1,542
経済的問題に関すること	2554 件	- 291
就労・職場環境に関すること	159 件	+ 61
就学・教育環境に関すること	11 件	- 12
虐待・暴力・人権に関すること	272 件	+ 16
受診・受療に関すること	3213 件	- 1,012
転院に関すること(医療機関)	8774 件	+ 741
他施設利用に関すること	2178 件	- 170
心理・情緒的問題に関すること	2758 件	- 546
他福祉関係法に関すること	3792 件	- 1,959
高額療養費に関すること	297 件	- 84
その他	3648 件	+ 464
合計	48318 件	- 2,580

(6)転帰先

区分	実件数	
一般病院	180 件	+ 27
回復期リハビリテーション病院	224 件	+ 41
療養型病院	61 件	- 6
精神病院	131 件	+ 9
有料老人ホーム	107 件	- 20
介護老人保健施設	40 件	- 7
特別養護老人ホーム	35 件	+ 0
グループホーム	9 件	- 1
在宅	1214 件	+ 60
死亡	170 件	+ 1

※平成24年度より、がん相談件数算出方法変更

介入の時期

受診まで	143	- 83
外来	542	- 75
入院中	2777	+ 34
退院時	35	- 2
その他	593	- 128
合計	4090	- 254

(実数-14)

※新規ケース数合計108 介入時期合計が同じになるように「その他」で調整

平成24年度出張記録(資料②)

①地域連携分野

内容	回数
認知症治療病診連携会	2
精神科救急身体合併症転院事業受け入れ病院連絡会	1
神奈川県病院協会 委員会・学会	3
神奈川県がん相談 がん相談研究会	1
神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会	3
中区障害者自立支援協議会 成人部会	1
中区3障害一休サービスマス提供施設建設委員会	3
中区精神保健福祉関係機関地域連絡会	2
横浜市精神障害者地域移行・地域密着支援事業説明会	1
神奈川県精神科病院事務長・医事担当者会	1
退院支援看護師の交流会	4
かいごのWAVEなか看護部会	5
横浜市訪問看護連絡協議会 看護職交流会	1
横浜脳卒中地域連携懇談会	4
横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)	1
中区児童虐待防止連絡会	1
横浜市重症心身障害児者メテオルショットシステム実務者会議	3
日本赤十字社東部ブロック連携実務者研修会	5
全国赤十字社医療ソーシャルワーカー協議会	2
看護協会シンポジウム	2

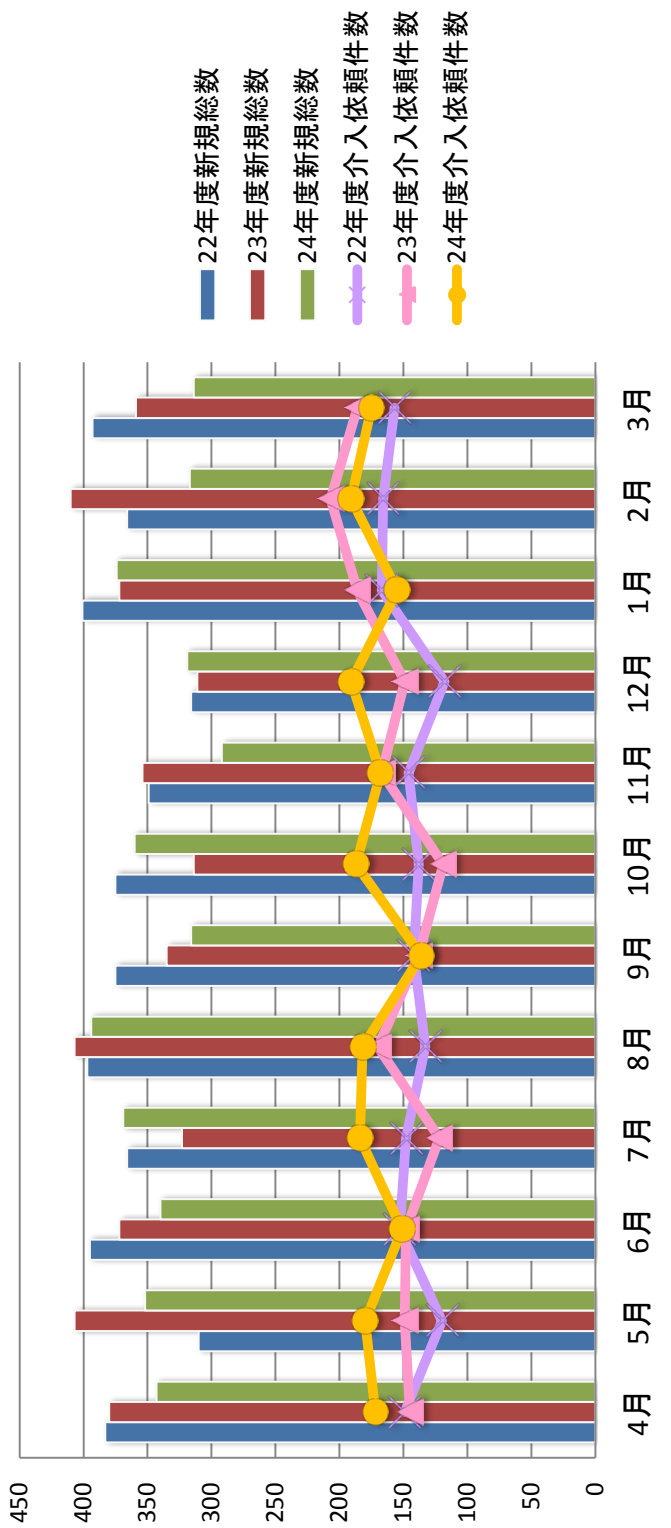
②研修・勉強会

内容	回数
医療協 ソーシャルワーカー会・委員会	21
社団法人日本PSW協会全国大会 総会	1
がん相談支援センター相談員基礎研修	1
日本赤十字社医学会総会	1
生涯研修制度 更新研修	1
アウトリーチ支援講習会	1
医療観察法研修	2
若者相談支援応用コース	1
芹香病院研修(精神保健福祉の研修)	1
横浜市障害者自立生活アシスタント事業シンポジウム	1
自殺対策研修	2
リカバリー全国フォーラム2012	1
「うつ」を考える 港南区精神保健福祉講座	1
エイズカウンセリング研修	1
発達障害の理解を深めるための講座	1
医療福祉保健関係者対応研修	1
訪問看護ステーション医療機関看護職員相互研修	4
看護管理研修 管理Ⅰ	1
退院調整看護師フォローアップ研修会	1
背髄損傷のリハビリテーション(理解編)研修	1
生活支援課 社会リハセミナー出席	1
こころのケア研修	1
神奈川県医療社会事業協会 新人研修	10

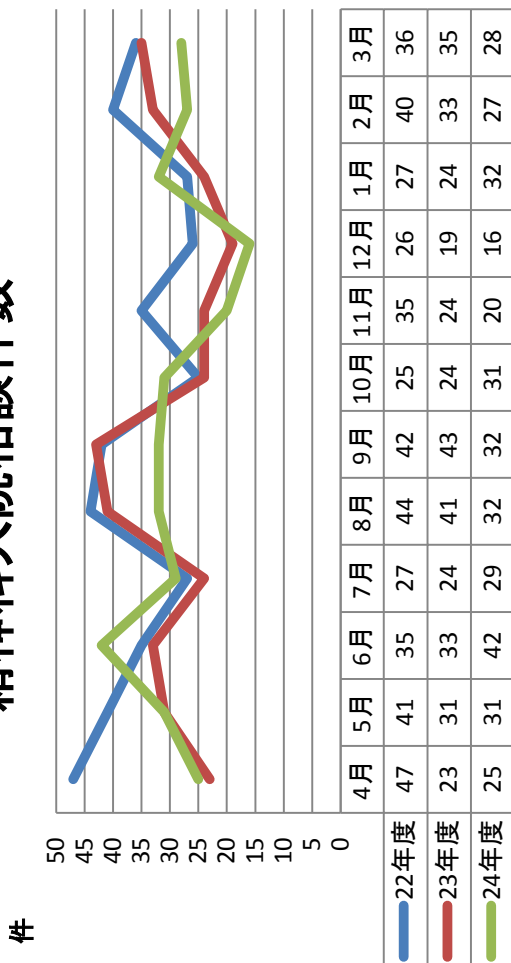
③その他

内容	回数
入院申し立て事件についての事前協議	3
ソーシャルワーク実習指導者懇談会	1
精神保健福祉士実習指導者説明会	1
医療機関訪問	6

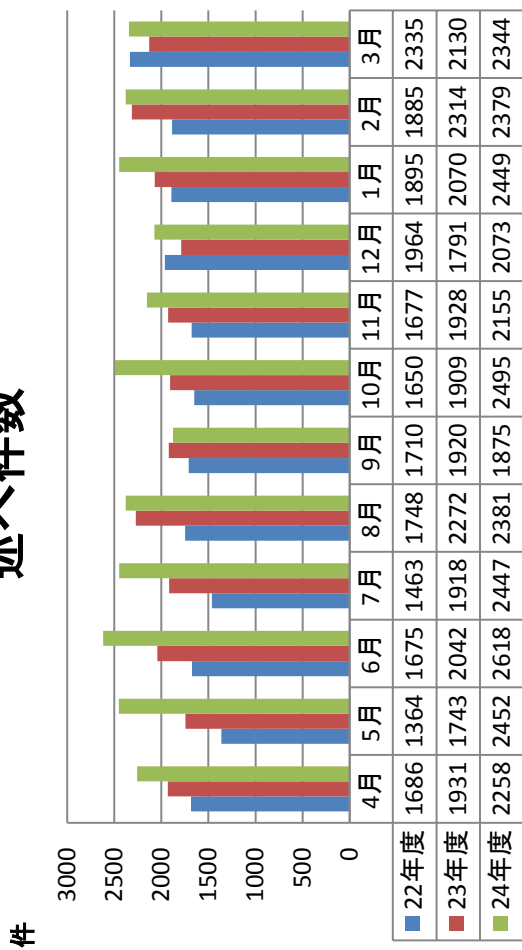
新規ケース



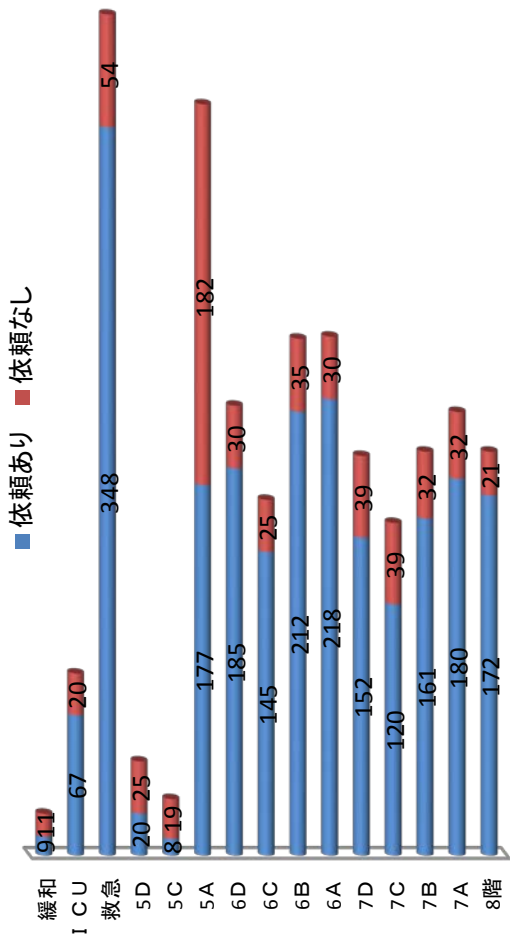
精神科入院相談件数



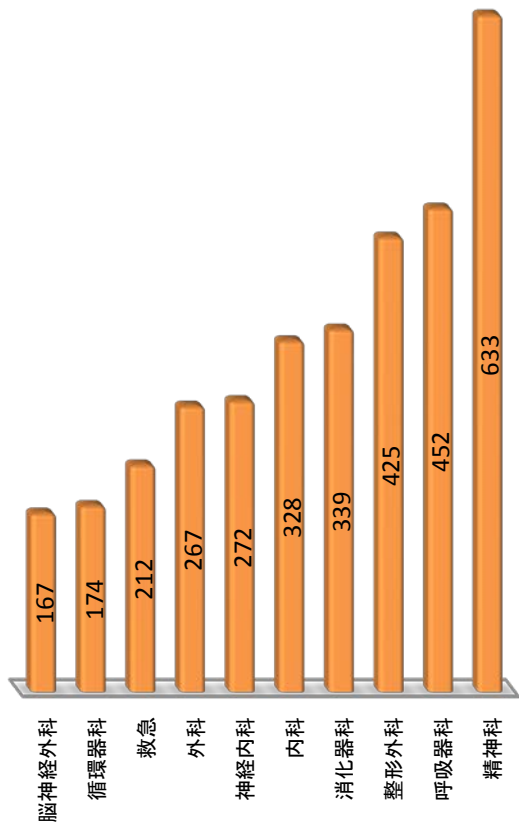
述べ件数



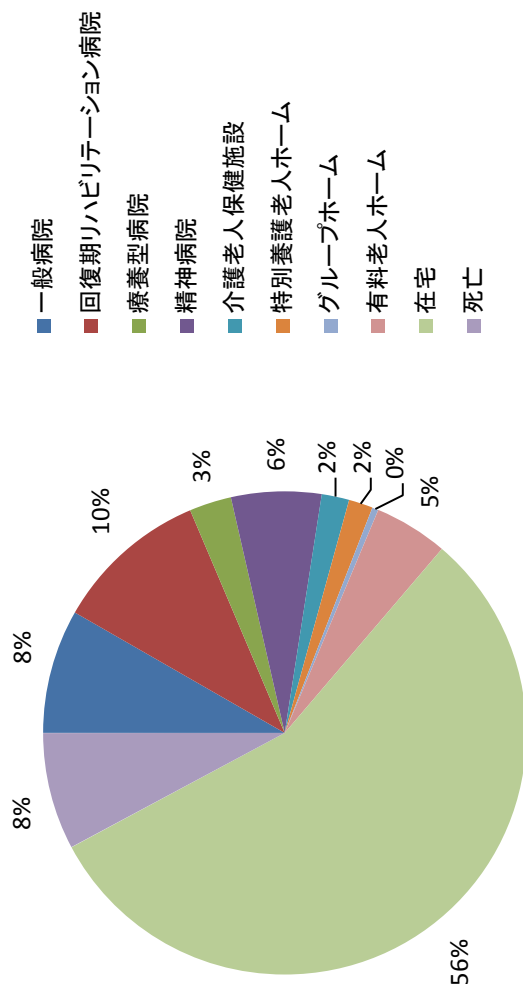
病棟別



診療科別(トップ10)



転帰先



病院トップ5

【一般】

①横浜悠愛クリニック	20件
①野村病院	20件
③本牧クリニック	13件
④ふれあい横浜ホスピタル	12件
⑤生麦病院	11件

【回復期】

①横浜なみきリハビリテーション病院	35件
②脳血管医療センター	32件
③新横浜リハビリテーション病院	27件
④済生会神奈川県病院	22件
④亀田病院	22件

【療養型】

①横浜悠愛クリニック	10件
①関東病院	10件
③朝倉病院	5件
③元気会横浜病院	5件
③古川病院	5件

【精神】

①横浜舞岡病院	17件
②福井記念病院	12件
③フジン坂病院	8件
③芹香病院	8件
⑤あさひの丘病院	6件
⑤菅我病院	6件
⑤ハートフル川崎病院	6件

4-5 市民委員会

1 事業概要

市民の意見を反映させることによって、適切な役割・機能の確保と、提供する医療・サービスの質の向上を図ることを目的とする。

2 24年度実績

平成25年3月5日(火) 18:30~20:15 3階大会議室にて開催した。

(主な議題)

- ・経営状況について
- ・患者満足度調査について
- ・質疑

3 委員

	委員名	役職
1	行天 良雄	医事評論家
2	荻野 アンナ	作家 慶應義塾大学教授
3	西川 哲男	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院 院長
4	向山 秀樹	横浜市中区医師会 会長
5	玉村 和巳	日本発条株式会社 代表取締役社長
6	川本 守彦	川本工業株式会社 代表取締役社長
7	川村 朋子	横浜市磯子区医療センター訪問看護ステーション 管理者
8	平山 正晴	横浜市中区連合町会連絡協議会 会長

4-6 治験・受託研究

1 事業概要

臨床試験（治験）の推進と迅速な審査体制による安全性の確保

2 24年度実績

24年度新規治験 7件

(内訳)

- ・関節リウマチ患者対象試験 1件
- ・成人喘息患者対象試験 2件
- ・心房細動患者対象試験 1件
- ・消化器手術施行予定患者対象試験 1件
- ・糖尿病患者対象試験 1件
- ・癌性浮腫患者対象試験 1件

3 目標に対する評価

治験推進を目的とした医師対象にライフイノベーション総合支援機構理事長の齋田豊先生による治験推進講演会を開催（3月26日）

4 次年度以降の取組み

治験受託件数アップのため、院内への積極的な治験情報発信とSMO（治験施設支援機関）等の情報を利用した積極的な治験情報収集に努める。

5 執行体制

臨床試験管理センター

センター長 : 中村 陽一 (アレルギーセンター)

副センター長 : 高橋 弘充 (薬剤部)

治験担当薬剤師 : 細内 和政

治験担当事務 : 佐々木 智子

6 データ

年度	22年度	23年度	24年度
治験受託件数	10件	17件	19件
臨床研究	36件	47件	58件
市販後調査	45件	36件	56件

4-7 患者・市民に対する相談・啓発活動

1 事業概要

赤十字事業には救急法等の赤十字安全講習会があり、これらの講習会を開催することで患者・市民に対して健康・安全への啓蒙活動を行い、健康管理の支援を行う。

2 24年度実績

- (1) 赤十字救急法短期講習会 2回
 - ・ 2月19日 参加者25名
 - ・ 2月21日 参加者30名
- (2) 赤十字救急法基礎講習会 1回
 - ・ 3月27日 35名
- (3) 赤十字救急法救急員養成講習会 1回
 - ・ 3月27日～3月29日 参加者35名
- (4) 健康生活支援講習会 3回
 - ・ 8月2日 参加者15名
 - ・ 10月18日 参加者47名
 - ・ 2月22日 参加者15名

3 目標に対する評価

例年通り、救急法、健康生活支援講習会は実施できたが、幼児安全法講習会は参加者の応募状況により開催に至らなかったため、講習会に参加しやすい体制等を検討する必要がある。

4 次年度以降の取組み

次年度以降も市民対象の安全講習会の他、病院職員を対象とした講習会も開催していく。院内で講習会を開催する場合は、指導員となる職員の勤務調整が必要となるが、今後も積極的に安全講習会を開催し、市民、病院職員への啓蒙活動を行う。

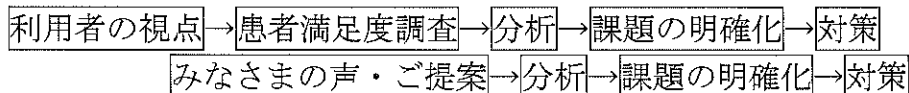
5 執行体制

- (1) 指導員有資格職員数
 - ・ 救急法 10名
 - ・ 水上安全法 3名
 - ・ 健康生活支援講習 3名
 - ・ 幼児安全法 8名
- (2) 赤十字安全講習会主管課
外来業務課社会係

4-8 患者サービス

1 事業概要

サービス向上に取り組む体制を構築する。



このサイクルを廻しながらフィードバックをする方法の検討、年間の計画を明確にする。年間の計画を組織化する。

2 24年度実績

- ・患者・職員満足度調査の実施・結果分析・対策
- ・みなさまの声の分析・報告
- ・接遇規準の作成
- ・外国語対応職員の委譲
- ・病院コンテンツの改定
- ・病院ホールの掲示改善
- ・電子カルテ用概算表作成

3 目標に対する評価

(1) サービス向上に取り組む体制を構築する。

利用者の評価をサービス向上に効果的に反映できるよう体制を構築した。また、活動のプロセス管理をすることで、効率的に実施できるよう意図した。利用者の声を具体的に分析してサービス向上に取り組む。

(2) 平成23年度の患者満足度調査の詳細分析を実施し、課題を整理したうえで関連部門に取り組み計画を作成してもらった。

(3) 成果を定期的に病院内外にフィードバックする。

みなさまの声や満足度調査結果をホームページや院内掲示で定期的にフィードバックする体制を整備した。サービス向上委員会用の掲示板を確保して、フィードバックや調査のお知らせ等を行った。

4 次年度以降の取組み

(1) 構築したサイクルでサービス向上の課題を明確にして委員会活動を推進していく。

(2) 接遇規準に則った職員研修を実施し、接遇・説明等のパフォーマンスを向上させる。

4-9 医療データベースの構築と情報提供

1 事業概要

電子カルテシステムからの情報を中心としたデータの蓄積、診療DWHや医事DWHなどを活用し、2次利用できるよう構築。各部門の必要な統計データの提供の実施を行っています。また、必要なデータ抽出のためのシステム検討とメンテナンスを行っています。

2 24年度実績

- ・月次の診療データ、患者数、稼働額等の統計データ抽出。
- ・各診療科、部門の統計データ抽出のサポート
- ・業務に関するデータ抽出を考慮した、電子カルテシステム（書式の検討等）と統計データの提出
- ・統計データ抽出に関するシステム検討（地域医療連携等）
- ・各部門の統計データの現状調査、データの定義の検討
- ・統計データの分析について、講演会の企画運営
- ・診療科細分化に伴う電子カルテシステムの見直し

3 目標に対する評価

月次の統計データについては、定期的に抽出し、各部門への情報提供を行いました。また、詳細データを抽出できるように診療科の細分化に合わせたシステムの見直しを実施しました。

統計データの現状調査においては、診療科と部門の一部を実施し、次年度への継続課題としています。各部門で抽出されるデータの定義の見直しが今後の課題。必要な統計データが抽出できるようなくみ、システムについて関係部門からの意見を収集し検討したが、導入に至っていません。

情報提供においては、外部講師の活用によりDPCデータの分析等、講演会を開催し院内への情報提供を行いました。

4 次年度以降の取組み

- ・統計データの現状調査と各定義の見直し。
- ・システムを活用したデータの2次利用についての検討。
- ・電子カルテシステムの機能追加、運用の見直し
- ・統計データについての定期的な情報提供の実施。

5 執行体制

- ・医療情報センター長 高橋弘充、医療情報課長 谷文恵、係長 小泉敬一

5 職員研修

5-1 職員研修（総括）

1 概要

医療機能を向上していくためには、一人ひとりの職員の資質向上が不可欠であることから、職員研修に重点的に取り組んでいる。

医師に対する臨床教育、看護師レベル別研修に加えて、平成 24 年度からは事務職員に対する研修も開始した。

なお、コメディカルに対する研修については、平成 25 年度より検討を始めている。

2 実施内容

(1) 医師研修

「5-2 職員研修（医師）」参照

(2) 看護師研修

「5-3 職員研修（看護部）」参照

(3) 事務職員研修

「5-4 職員研修（事務職員）」参照

5-2 職員研修（医師）

1 事業概要（臨床教育研修センターの取組み）

- ・ 医師臨床研修、歯科医師臨床研修の研修プログラム作成および研修管理
- ・ 研修医・指導医対象の各種セミナーや医療スタッフ向け講習会の企画運営
- ・ 研修医・後期研修医の採用活動のための見学会の企画運営、見学対応

2 24年度実績

（研修医関係）

- ・ 医師臨床研修：採用研修医 6名
- ・ 歯科医師臨床研修：採用研修歯科医 1名
- ・ 病院見学医学生受入：85名
- ・ 病院見学歯学生受入：21名
- ・ 研修医採用パンフレットの作成
- ・ 研修医評価票・指導医評価票の作成・導入

（後期研修医関係）

- ・ 専門医研修プログラムの作成

（研修会関係）

- ・ 研修医向けモーニングセミナー 年間72回開催
- ・ 医学生向け見学会 年間3回開催
- ・ Morbidity and Mortality Conference 年間11回開催
- ・ みなとFDセミナー1回開催
- ・ その他講演会 2回開催
- ・ 平成25年度新規採用者オリエンテーション企画

（その他）

- ・ 「みなとスキルラボ」の設立・整備

3 目標に対する評価

- ・ 専門医取得を見据えた後期研修医プログラムを新たに作成し、より充実した研修内容とした。また初期研修医に関しても、集中治療部などローテーションで診療科を従来より増やし、研修医のニーズに応えた。
- ・ 独自に評価票を作成し、定期的に指導医・研修医の両者が互いの評価を行うシステムを導入し、適宜評価内容をフィードバックした。これにより、各診療科での指導方法の見直しや研修医のサポートをより綿密に行うことができた。
- ・ スキルトレーニングセンター「スキルラボ」を開設し、医師・看護師をはじめとした医療職の技術向上の場を提供した。

4 次年度以降の取組み

- ・ 医師・歯科医師の臨床研修のみならず、コメディカルや事務職など全職員対象に各種研修会・研修プログラムを企画・運営し、病院全体の医療の質の

向上を図る。

・5回目となる指導医養成講習会を自院主催で開催し、指導医の増員および指導体制を強化する。

・スキルラボを活用し、研修会やセミナーを企画して医療技術の向上に努める。

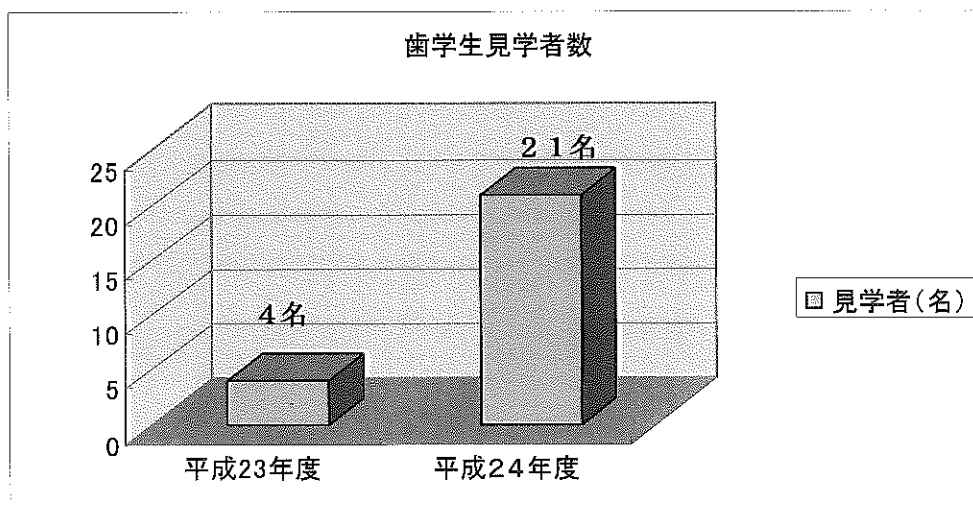
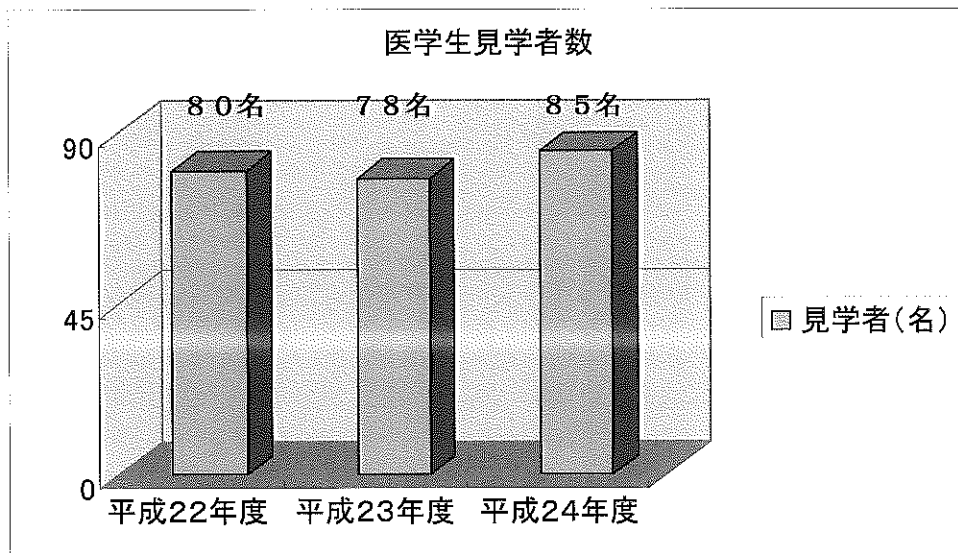
5 執行体制

臨床教育研修センター長 渡辺 孝之（副院長）

事務局 総務課 主事 竹下 奈津実

6 データ

【病院見学者数（のべ人数）】



5-3 職員研修（看護部）

別紙のとおり

レンパ分類	研修名称	担当講師	教育委員(主幹)氏名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レンパ I	フタバカブチモエメント	*植藤 (主幹) *佐藤 (主幹)	平野 全男	フタバカブチモエメント (研修①) 17:30~18:30	研修① 5/14 (18:00~17:30)	研修① 5/28 (18:00~17:30)	研修② 7/27 (18:00~17:30)	研修② 8/13 (18:00~17:30)	研修③ 8/14 (18:00~17:30)	研修④ 9/7 (18:00~17:30)	研修⑤ 10/28 (18:00~17:30)	研修⑥ 11/4 (18:00~17:30)	研修⑦ 12/4 (18:00~17:30)	研修⑧ 2/5 (18:00~17:30)	
				研修⑧ 2/5 (18:00~17:30)											
レンパ II	フタバカブチモエメント	*金丸 深次	中井 大進	研修① 5/28 (18:00~17:30)	研修② 5/28 (18:00~17:30)	研修③ 5/28 (18:00~17:30)	研修④ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑤ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑥ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑦ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑧ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑨ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑩ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑪ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑫ 5/28 (18:00~17:30)
				研修⑬ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑭ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑮ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑯ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑰ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑱ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑲ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑳ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉑ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉒ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉓ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉔ 5/28 (18:00~17:30)
レンパ III	フタバカブチモエメント	*小笠原 (主幹) *佐藤 (主幹)	中井 大進	研修① 5/28 (18:00~17:30)	研修② 5/28 (18:00~17:30)	研修③ 5/28 (18:00~17:30)	研修④ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑤ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑥ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑦ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑧ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑨ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑩ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑪ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑫ 5/28 (18:00~17:30)
				研修⑬ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑭ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑮ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑯ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑰ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑱ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑲ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑳ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉑ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉒ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉓ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉔ 5/28 (18:00~17:30)
レンパ IV	フタバカブチモエメント	*小笠原 (主幹) *佐藤 (主幹)	中井 大進	研修① 5/28 (18:00~17:30)	研修② 5/28 (18:00~17:30)	研修③ 5/28 (18:00~17:30)	研修④ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑤ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑥ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑦ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑧ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑨ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑩ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑪ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑫ 5/28 (18:00~17:30)
				研修⑬ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑭ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑮ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑯ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑰ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑱ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑲ 5/28 (18:00~17:30)	研修⑳ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉑ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉒ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉓ 5/28 (18:00~17:30)	研修㉔ 5/28 (18:00~17:30)

*日曜は休むこととなります。研修日は原則に準じています。変更時は研修員が承知するものと、研修員が承知していません。

5-4 職員研修（事務部）

別紙のとおり

5 職員等研修

(1) 院内職員研修報告

開催日	研修(勉強会)名称	内容	対象者	参加人数
4月1日	新入才リエントリーション	講演会「接遇について」「個人情報保護法について」「電子カルテの概要」	新規採用職員	200人
3月27日～28日	新規採用職員基礎研修会(支部)1回目	赤十字職員としての意識の確立、執務に必要な知識の習得、参加相互の交流	新規採用職員	65人
4月5日～6日	新規採用職員基礎研修会(支部)2回目	赤十字職員としての意識の確立、執務に必要な知識の習得、参加相互の交流	新規採用職員	38人
6月16日	赤十字病院臨床研修医研究会	各赤十字病院で研修を受けている研修医に対し、赤十字に触れる機会を与え、赤十字事業に対する理解を深め、研修少後赤十字病院への勤務を期待する。	赤十字病院で臨床研修を行っている2年次生	6人
7月5～6日	赤十字セミナー(支部)	赤十字の組織と事業の概要、業務遂行に必要な基礎知識の習得、参加者の交流	新規採用職員研修会や中堅職員研修会に参加できなかった職員	7人
8月7日～8日	新任係長級職員研修会(合同)2回目	部下の育成指導、仕事の進め方、問題解決、リーダーシップ等	3県支部・施設の新任係長級職員	2人
8月28日	事務部長講演会「キックオフ宣言」	人材育成・活用の問題解決、職場の考えを示し職員へのフィードバック	事務系職員	58人
9月24日～25日	研修担当者研修	病院経営、人材・患者確保、役割などを学ぶ	日本赤十字社施設研修担当者	1人
10月3日～4日	病院経営マネジメント研修会	病院経営、人材・患者確保、役割などを学ぶ	事務系幹部職員	1人
10月10日	新規採用職員フォロー研修会II-②(支部)	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかんにか生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者	26人
10月17日	新規採用職員フォロー研修会II-③(支部)	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかんにか生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者	39人
10月30日	新規採用職員フォロー研修会II-③(支部)	新規採用研修会の成果と職場内におけるOJTの成果を業務にいかんにか生かしてきたかの確認	新規採用職員基礎研修会参加者	35人
11月14日	現任係長級研修会	係長級職員としての責任と役割を再認識させ、部下指導能力の向上を図る	現任係長級職員	6人
11月22日	事務系研修会(主事級)	接遇研修	事務系職員(新規採用者)	9人
11月26日	講演会「赤十字病院のこれからと、病院事務職員へ期待すること」	事務職員は何をを目指すのか、事務職員としてあるべき姿に向けてのリーダー研修	事務系職員	48人
11月27日	事務系研修会(主事級2)	診療報酬・保険制度について学ぶ	事務系職員(採用2年目)	6人
11月28日	ライフプランセミナー(支部)	定年後の生活設計に役立つ情報や計画の立て方	赤十字施設に勤務する54歳以上の職員、労務担当者	2人
12月8日	「病院経営者・人事担当者向けセミナー」	病院における人事制度の構築とその運用について学ぶ	人事労務管理者	1人
12月14日	事務系研修会(主事級2)	「DPC」について学ぶ	事務系職員(採用2年目)	6人
12月19日	事務系研修(課長・係長)	目標管理について(SWOT分析・クロス分析)	事務系課長・係長	19人
12月20日	事務系研修会(主事級1)	病院の仕組みについて学ぶ	事務系職員(新規採用者)	9人
1月16日	事務系研修(課長・係長)	目標管理について(SWOT分析・クロス分析の報)	事務系課長・係長	19人
1月17日	事務系研修会(主事級1)	医療倫理・職業倫理・個人情報保護について学ぶ	事務系職員(新規採用者)	9人
1月30日	事務系研修会(主事級2)	「会計の基礎」について学ぶ	事務系職員(採用2年目)	6人
2月13日～15日	新規採用職員1年目フォローアップ研修(本社)1回目	社会人2年目を迎えるにあたり、入社からこれまでの振り返りと自らに期待されている役割を理解する	新規採用職員研修会参加者	2人
2月20日～22日	新規採用職員1年目フォローアップ研修(本社)2回目	社会人2年目を迎えるにあたり、入社からこれまでの振り返りと自らに期待されている役割を理解する	新規採用職員研修会参加者	2人
2月21日	事務系研修会(主事級2)	「災害教護」について学ぶ	事務系職員(採用2年目)	6人
2月27日	事務系研修会(主事級1)	目標管理について学ぶ	事務系職員(新規採用者)	9人
2月27日	事務系研修会(主事級2)	「目標管理」について学ぶ	事務系職員(採用2年目)	6人
3月12日	事務系研修会(主事級1)	研修全体のフォローアップ	事務系職員(新規採用者)	9人
年間	自己啓発支援制度	「通信教育講座のご案内」の配布及び周知	適任者	13人

6 院外からの研修受入れ

5-1 院外からの研修受入れ（看護部）

1 事業概要

病院開業から横浜市立病院、赤十字病院として、看護基礎教育実習や卒後教育を引き受けている。

2 24年度実績

(1) 看護基礎教育実習：306名

（日本赤十字看護大学、神奈川県立よこはま看護専門学校、神奈川県立衛生看護専門学校、横浜市病院協会看護専門学校、横浜市医師会看護専門学校）

(2) 卒後教育：

- ・認定看護師課程：5名

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター：急性期重症者支援2名・
がん患者支援2名

日本赤十字幹部看護師研修センター：認定看護管理/サードレベル1名

- ・大学大学院修士課程：3名

（日本赤十字看護大学大学院小児看護学実習1名・国際助産学実習2名）

- ・その他

高齢者支援課程1名（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

海外医学生の看護体験実習：1名（チェコ国立パラツキー大学医学部）

3 目標に対する評価

今年度計画した実習受け入れは、学生数の減少があったが予定通り実施できた。実習指導については、各病棟で実習指導者を中心に指導し、各学校の各実習の目標達成を支援できた。

4 次年度以降の取組み

次年度は、1大学（創価大学看護学部）の実習受け入れを新たに行う。

今後、神奈川県立の看護学校の学生数増加に伴い成人看護学実習の増加と精神看護学実習の受け入れも開始する予定である。

学生の受け入れにあたり、次年度も外部の実習指導者研修課程、日本赤十字看護大学での実習指導者研修を活用して実習指導者の養成に力を入れていく。

5 執行体制

- ・看護副部長：高橋 千香子（実習担当）
- ・看護師長：永井 妙子（臨床指導委員会）
- ・実習指導者：各病棟

6 データ (※平成 24 年度実績、平成 25 年度計画 資料添付)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
看護基礎教育実習	414	330	306
卒後教育	14	12	9
その他	0	1	1

平成24年度 卒後教育実習受入実績報告書

横浜市立みなと赤十字病院

養成所名	実習人員	実習期間	備考
日本赤十字看護大学大学院 (東京都渋谷区広尾4-1-3)	1	4/6~11/30 ※2011.12/17~実習	小児看護学専攻
	2	5/22~6/22	国際保健助産学
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター (神奈川県横浜市旭区中野1-5-1)	2	9/20~10/26(うち22日間)	急性期重症者支援課程
	2	9/20~10/26(うち22日間)	がん患者支援課程
	1	12/3~12/7	高齢者支援課程
チェコ国立バラツキー大学医学部	1	7/9~7/20	看護実習
日本赤十字社幹部看護師研修センター (東京都渋谷区広尾4-1-3)	1	8/31	赤十字看護管理研修Ⅲ
合 計	10		

6-2 院外からの研修受入れ（薬剤部）

1 事業概要

薬科大学実務実習（11 週間）の実務教育を中心に早期体験実習、国際医療技術財団による JICA 集団研修「病院薬学」コースの実習病院として院外学生受入を実施している

2 24 年度実績

- ・実務実習 各期 4 名 3 期 計 12 名
（横浜薬科大学 6 名 東京薬科大学 2 名 星薬科大学 2 名 帝京大学 2 名）
- ・早期体験実習 2 大学 15 名（横浜薬科大学、星薬科大学）
- ・ JICA 実習 4 名
（ベトナム、マレーシア、パプアニューギニア、南アフリカ）

3 目標に対する評価

実務実習ではコアカリキュラムに則したプログラムと、多くの疾患に触れ、臨床現場での充実した実践的な実習を目的とし、学生一人一人に指導担当者を置くチューター制を導入し、きめ細かい指導を行った。

4 次年度以降の取組み

25 年度は全病棟への病棟薬剤師配置とともに病棟薬剤業務がスタートするため、実務実習ではさらに病棟業務の理解を深めていくようにする必要がある。

5 執行体制

- ・実務実習担当責任者 高橋 弘充（部長）
- ・実務実習担当窓口 井口 美恵子（副部長）
- ・認定実務実習指導薬剤師 11 名

6 データ

研修名	22年	23年	24年
実務実習	10名	13名	12名
早期体験実習	20名	12名	15名
JICA研修	4名	4名	4名

5-3 院外からの研修受入れ（リハビリテーション科部）

1 事業概要

リハビリテーション実習生の受け入れ

2 24年度実績

理学療法士学生評価実習 3名

理学療法士学生臨床実習 2名

3 目標に対する評価

理学療法士学生評価実習については、1名の予定が3名と多く受け入れた。
理学療法士学生臨床実習については、当初の予定通り2名の受け入れを行った。

4 次年度以降の取り組み

次年度は、前年度同様の理学療法士実習生の受け入れを行う。また、作業療法士、言語聴覚士でも、職員数の充実に伴い、実習生の受け入れを検討する。

5 執行体制

自習指導責任者：高木 明

自習指導者：福澤 賢 桑田淳子 引頭 彩 木村 翠 竹下昌広

6 データ

【実習生受け入れ状況】

平成22年度 3名

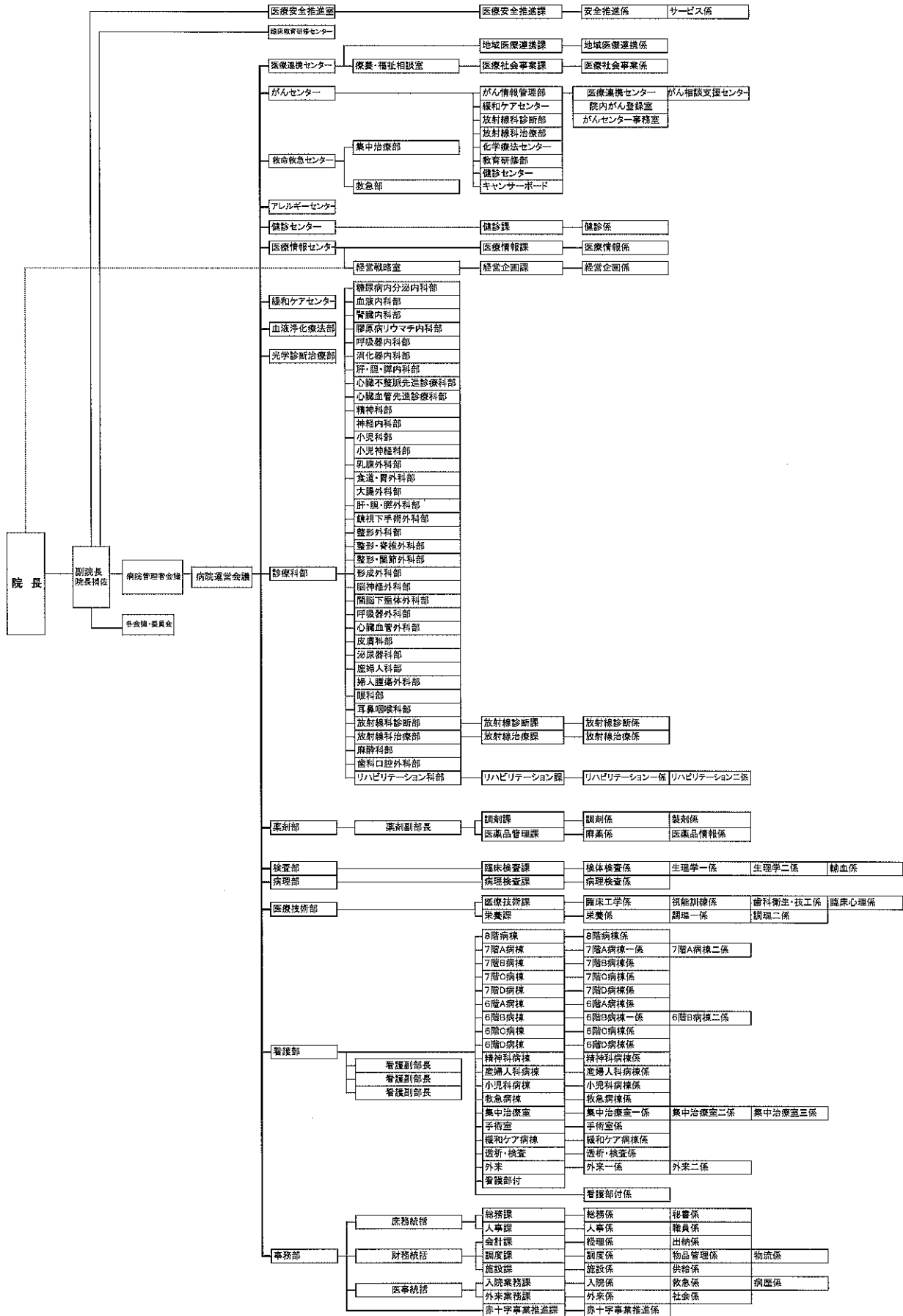
平成23年度 3名

平成24年度 5名

7 職員

7-1 組織図

組織図



7-2 職員配置状況

職 種	配置数	内 訳			備 考	
		常勤	非常勤	派遣職員等		
管 理 部 門	事務職員	174.04	50	16.04	108	看護師2含む
	技術職員	4	4			
	運 転 手	0				
	ボイラー技師	0				
	電話交換手	2	1		1	
診 療 部	医 師	183.8	173	10.8		
	歯科医師	3.3	3	0.3		
看 護 部 門	看 護 師	577.4	562	15.4		
	准看護師	3	3			
	看護助手	61.1	21	28.1	12	
	事務職員	20	2	1	17	保育1含む
健 診 部 門	看 護 師	3	3			
	事務職員	8	2		6	
連 携 部 門	社会福祉士	5	5			
	精神保健福祉士	3	3			
	看 護 師	5	5			
	事務職員	7	3	1	3	
検 査 ・ 医 療 技 術 部 門	薬 剤 師	27	27			
	診療放射線技師	25	25			
	臨床検査技師	34	33	1		衛生検査技師1含む
	理学療法士	16	15	1		
	作業療法士	6	6			
	言語聴覚士	3	3			
	マッサージ師	1	1			
	臨床工学技士	8	8			
	視能訓練士	2	2			
	歯科衛生士	4	3	1		
	臨床心理士	1	1			
	管理栄養士	6.1	6	0.1		
	栄 養 士	0				
	調 理 師	6	6			
事務職員	3		3			
その他	5.3	3	1.3	1	アレルギーセンター事務 2、検査技師1、臨床検査技師 1.2	
合 計	1207.04	979	80.04	148		

7-3 診療科責任体制

	部門名	現員	職名	氏名	備考
1	救命救急センター	1	センター長 副センター長	八木 啓一 欠	
2	救 急 部	5.3	診療科部長 副部長	伊藤 敏孝 欠	
3	集 中 治 療 部	8	診療科部長 副部長	武居 哲洋 奈良 岳志	
4	糖尿病内分泌内科	5	診療科部長 副部長	渡辺 孝之 欠	副院長
5	血 液 内 科	3	診療科部長 副部長	山本 晃 欠	
6	腎 臓 内 科	3	診療科部長 副部長	中村 太一 欠	
7	膠原病リウマチ内科	3.1	診療科部長 副部長	萩山 裕之 欠	
8	緩和ケアセンター	1.5	診療科部長 副部長	大谷 洋一 欠	兼務
9	呼 吸 器 内 科	6.2	診療科部長 副部長	田ノ上 雅彦 河崎 勉	
10	消 化 器 内 科	9	診療科部長 副部長	有村 明彦 河村 貴宏	
11	肝・胆・膵内科	1	診療科部長 副部長	先田 信哉	
12	心臓不整脈先進診療科	8	診療科部長 副部長	沖重 薫 青柳 秀史	
13	心臓血管先進診療科	3	診療科部長 副部長	倉林 学 欠	
14	神 経 内 科	4	診療科部長 副部長	田中 宏明	
15	アレルギーセンター科	2.4	診療科部長 副部長	中村 陽一 遠藤 順治	
16	精 神 科	7	診療科部長 副部長	石東 嘉和 嶋津 奈	
17	小 児 科	12	診療科部長 副部長	菊池 信行	
18	小 児 神 経 科	1	診療科部長 副部長	大瀬 由紀子	
19	乳 腺 外 科	2.1	診療科部長 副部長	阿部 哲夫 清水 大輔	副院長
20	食 道 ・ 胃 外 科	4.1	診療科部長 副部長	小尾 芳郎	
21	大 腸 外 科	1	診療科部長 副部長	長谷川 誠司	
22	鏡 視 下 手 術 外 科	1	診療科部長 副部長	長田 俊一	
23	肝・胆・膵外科	1	診療科部長 副部長	杉田 光隆	
24	整 形 外 科	8.1	診療科部長 副部長	小森 博達 品田 春生	兼務
25	整形・脊椎外科	1	診療科部長 副部長	佐々木 真一	
26	整形・関節外科	1	診療科部長 副部長	浅野 浩司	
27	形 成 外 科	3	診療科部長 副部長	伊藤 理	
28	脳 神 経 外 科	4	診療科部長 副部長	高木 信	
29	間 脳 下 垂 体 外 科	1	診療科部長 副部長	持松 泰彦	
30	呼 吸 器 外 科	1.1	診療科部長 副部長	田淵 典之 下山 武彦	兼務
31	心 臓 血 管 外 科	4.3	診療科部長 副部長	田淵 典之	
32	皮 膚 科	3.2	診療科部長 副部長	並木 剛	
33	泌 尿 器 科	5.1	診療科部長 副部長	土屋 ふとし 滝沢 明利	
34	産 婦 人 科	7.2	診療科部長 副部長	多田 聖郎 和知 敏樹	
35	婦 人 腫 瘍 外 科	0	診療科部長 副部長	多田 聖郎 欠	兼務
36	眼 科	2.5	診療科部長 副部長	権野 めぐみ	
37	耳 鼻 咽 喉 科	4.1	診療科部長 副部長	新井 基洋	
38	リハビリテーション科	1.6	診療科担当部長 副部長	新井 雅信 日野 太郎	
39	放 射 線 診 断 科	2.7	診療科部長 副部長	大谷 洋一 遠藤 英穂	
40	放 射 線 治 療 科	1	診療科部長 副部長	大谷 洋一 荻 成行	兼務
41	麻 酔 科	6	診療科部長 副部長	西村 一彦 欠	
42	歯 科 口 腔 外 科	3.3	診療科部長 副部長	向山 仁 生田 穂	
43	病 理 部	3	診療科部長 副部長	熊谷 二朗 欠	
44	健 診 部	1.2	診療科部長 副部長	伊藤 美奈子 欠	
45	臨 床 研 修 医	30	初期研修 後期研修	26 4	
	診 療 科 計	187.1			

7-4 看護部門責任体制

	部門名	配置予定	職名	氏名	助手
1	看護部	9.1	看護部長	鈴木 恵子	
			副部長	3	
			師長	2	
			係長	1	1
2	外来	31.4	師長	1	
			係長	2	5.8
3	手術室	32	師長	1	
			係長	欠	1.8
4	8階病棟	25.8	師長	1	
			係長	1	3
5	7階A病棟	30	師長	欠	
			係長	2	4
6	7階B病棟	29	師長	1	
			係長	1	4
7	7階C病棟	28	師長	1	
			係長	欠	4
8	7階D病棟	28.7	師長	1	
			係長	欠	4
9	6階A病棟	29	師長	1	
			係長	1	4
10	6階B病棟	27	師長	欠	
			係長	2	4
11	6階C病棟	25	師長	1	
			係長	欠	4
12	6階D病棟	26	師長	1	
			係長	1	4
13	精神科病棟	24	師長	1	
			係長	1	2
14	産婦人科病棟	33.6	師長	1	
			係長	1	2
15	小児科病棟	35	師長	1	
			係長	1	2
16	救急病棟	40	師長	1	
			係長	1	3.5
17	集中治療室	49	師長	1	
			係長	2	2
18	緩和ケア病棟	21.8	師長	1	
			係長	欠	2
19	透析室	21.7	師長	2	
			係長	1	3
20	夜勤専従	2.5	師長		
			係長		
20	看護教育		師長		
			係長		
21	看護部付	31.8	師長		
			係長		
	看護師計	580.4			
	助手・クラーク計	81.1			60.1
	看護部計	661.5			

7-5 健診部門責任体制

4	健診センター	11	センター長	伊藤 美奈子	医師の兼務
			課長	1	健診課
			係長	欠	健診係

7-6 医療連携部門責任体制

1	医療連携センター	20	センター長	持松 泰彦	医師の兼務
			課長	欠	地域医療連携課
			係長	1	地域医療連携係
			課長	欠	医療社会事業課
			係長	欠	医療社会事業係

7-7 検査・医療技術部門責任体制

	部門名	配置予定	職名	氏名	備考
1	薬剤部	28	部長	高橋 弘充	
			副部長	1	
			課長	1	兼務調剤課(事務取扱)
			課長	1	医薬品管理課
			係長	欠	調剤係
			係長	欠	製剤係
			係長	欠	麻薬係
2	放射線科診断部	25	部長	大谷 洋一	医師の兼務
			副部長	1	医師の兼務
			技師長	欠	
			課長	1	放射線診断課
			係長	欠	放射線診断係
			係長	3	放射線科部付
			3	放射線科治療部	25
副部長	1	医師の兼務			
課長	1	放射線診断課兼務			
4	病理部	35	部長	熊谷 二朗	医師の兼務
			課長	欠	病理検査課
			係長	欠	病理検査係
5	検査部	35	部長	山本 晃	医師の兼務
			技師長	欠	
			課長	1	臨床検査課
			係長	欠	検体検査係
			係長	欠	生理学一係
			係長	欠	生理学二係
			係長	欠	輸血係
6	リハビリテーション科部	26	担当部長	新井 雅信	医師の兼務
			課長	欠	
			係長	1	リハビリテーション一係
			係長	1	リハビリテーション二係
7	医療技術部	28.1	部長	有村 明彦	医師の兼務
			課長	欠	医療技術課
			係長	1	臨床工学係
			係長	欠	視能訓練係
			係長	欠	歯科衛生・技工係
			係長	欠	臨床心理係
			課長	1	兼務栄養課 事務取扱
			係長	1	栄養係
			係長	欠	調理一係
			係長	欠	調理二係
検査・医療技術部門計		142.1			

7-8 管理部門責任体制

部門名	配置予定	職名	氏名	備考
1 医療情報センター	15.1	センター長	高橋 弘充	薬剤師の兼務
		課長	1	医療情報課
		係長	1	医療情報係
		課長	1	経営企画課 兼務
		係長	1	医療情報係 兼務
2 医療安全推進室	2	室長	小森 博達	医師の兼務
		課長	1	医療安全推進課
		係長	欠	安全推進係
		係長	欠	サービス係
3 事務部	162.94	部長	小山田 茂夫	
		副部長	欠	
		課長	1	総務課
		係長	1	総務係
		係長	1	秘書係
		課長	1	人事課
		係長	1	人事係(事務取扱)
		係長	1	職員係
		課長	1	会計課
		係長	欠	経理係
		係長	欠	出納係
		課長	1	調度課
		係長	1	調度係
		係長	1	物品管理係
		係長	欠	物流係
		課長	1	施設課
		係長	1	施設係
		係長	欠	供給係
		課長	1	入院業務課
		係長	1	入院係
		係長	欠	救急係
		係長	欠	病歴係
		課長	1	外来業務課
係長	1	外来係		
係長	1	社会係 兼務		
課長	1	赤十字事業推進課		
係長	欠	赤十字事業推進係		
管 理 部 計	180.04			

8 施設管理

8-1 医療機器の整備状況

購入単価500万円以上のもの

	部門名ごとに整理 (中央・看護・管理・診療等)	機器名称	用途	新規・更新
1	診療	手術台	心臓血管外科手術用	新規
2	診療	外科用X線TV装置	心臓血管外科手術用	新規
3	診療	外科用X線TV装置	外科系手術用	新規
4	診療	手術台用ドリル	整形外科手術用	新規
5	診療	ICUベッド	集中治療患者用	更新
6	診療	ICUベッド	集中治療患者用	更新
7	診療	超音波診断装置	乳腺外科用	新規
8	診療	MRIアップグレード	MRI検査用	更新
9	診療	超音波診断装置	検査部外来患者検査用	更新
10	診療	超音波診断装置	産婦人科外来検査用	新規
11	診療	心臓カテーテルモニタリングシステム	心カテ用	更新
12	診療	骨密度測定装置	放射線検査用	更新
13	診療	超音波診断装置	小児科病棟検査用	新規
14	診療	循環器科画像ファイリングシステム	循環器科病棟用	更新
15	診療	内視鏡超音波システム	内視鏡検査用	新規
16	診療	超音波診断装置	内科病棟用	新規
17	診療	呼吸機能検査システム	アレルギーセンター検査用	新規
18	診療	腹腔・胸腔ビデオスコープシステム	外科手術用	新規
19	診療	PET-CT	放射線検査用	新規
20	診療	腹腔鏡下手術トレーニング用シュミレーター	臨床研修センター用	新規
21	診療	腹腔・胸腔ビデオスコープシステム	外科手術用	新規
22	診療	超音波診断装置	外科手術用	新規
23	診療	人工心肺装置	循環器科病棟用	更新
24	診療	心筋保護液供給装置	透析用	更新
25	診療	熱傷治療ユニット	集中治療患者用	新規

8-2 施設設備改修報告

(平成24年度)

	部門名ごとに整理 (中央・看護・管理・診療等)	施設・設備名称	面積(m ²)	用途	新規・修繕
1	5階将来対応スペース	化学療法室増床改修工事	95.4 m ²	化学療法の療法室	新規
2	5階将来対応スペース	精神科外来改修工事	26.0 m ²	精神科外来移設	新規
3	1階前、化学療法室	腎臓内科新設改修工事	72.07 m ²	腎臓内科新設	新規
4					
5					
6					
7					

実施回数	法定点検業務等	平成25年(2013年)												実施月	実施標準	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	消防設備点検業務				●											消防法
2	ばい煙測定			●												大気汚染防止法
3	特高受変電設備定期検査							●								電気事業法
4	高圧受変電設備定期検査							●								電気事業法
5	無停電電源設備保守及び定期点検 (非常用照明)									●						電気事業法
6	直流電源設備保守及び定期点検										●					電気事業法
7	自家用発電設備保守及び定期点検 (非常用発電機)		●													電気事業法
8	中央監視設備保守及び定期点検															電気事業法
9	昇降機設備保守及び定期検査															電気事業法
10	ボイラー・圧力容器性能検査及び事前整備															ボイラー安全衛生法
11	コンドミニアム設備保守及び性能検査															ボイラー安全衛生法
12	建築設備点検															建築基準法
13	特殊建築物定期検査															建築基準法
14	簡易専用水道検査															水道法
15	暖水槽・高梁水溜定期清掃															水道法
16	飲料水水质検査															水道法
17	冷却設備保守及び水質管理															自主点検
18	吸収式冷凍機定期点検															メーカー標準点検
19	自動ドア保守及び定期点検															メーカー標準点検
20	害虫定期駆除															ビル管理法
21	顧客グリスフィルタ定期清掃業務															自主管理
22	顧客グリストラップ定期清掃業務															自主管理
23	駐車場警備設備保守及び定期点検															メーカー標準点検
24	リニア搬送設備保守及び定期点検															メーカー標準点検
25	汚水槽・厨廃排水溜清掃															横浜市条例
26	検査系排水処理施設															メーカー標準点検
27	特定施設															メーカー標準点検
28	地下タンク貯蔵所															下水道法
29	医療ガス供給設備															消防法(24年度実施予定)
30	CE設備															高圧ガス保安法
31	免震装置															高圧ガス保安法
32	R1排水処理設備															1. 3. 5. 10年目実施
33	ゴミコンテナ設備															放射線障害防止法
34	ナースコール・インターホン設備															メーカー標準点検
35	空調自動制御定期点検															メーカー標準点検
36	機械式駐車設備															メーカー標準点検
37	蒸気貫流ボイラー定期点検															メーカー標準点検
38	電話設備															メーカー標準点検

8-4 外部委託

1 事業概要

病院業務の効率化を図るため、業務の一部を外部委託する

2 24年度実績

別紙1のとおり17の業務について外部委託した

3 目標に対する評価

それぞれの業務について主管部署による評価を行い、一部を除き概ね良好な結果であった

4 次年度以降の取組み

主管部署からの評価が著しく悪く、改善の見込みのない受託者は次年度から変更する

5 執行体制

別紙1のとおり

6 データ

別紙1：平成24年度の業務委託状況

別紙2：平成25年度の業務委託予定

外部委託業務（平成24年度）

別紙1

	委託業務の名称	主な業務内容	受託者（会社名）	主管部署
1	食事療養提供業務	患者用給食の調理、給食材料管理補助、食器洗浄等衛生管理補助、配膳・下膳業務	ハーベスト 株式会社	栄養課
2	中央滅菌材料室・手術室器材の洗浄・滅菌業務	使用済器材の回収・洗浄・滅菌・供給業務	日本ステリ 株式会社	調度課
3	検体検査業務	検体検査業務	株式会社 ビー・エム・エル	検査部
4	患者用ベッド洗浄業務	ベッド等の清拭・定期点検業務	株式会社 柴橋商会	調度課
5	寝具貸借及び洗濯業務	患者用寝具・職員当直用寝具貸借業務、洗濯全般業務	株式会社 サンビームランドリー	調度課
6	白衣等リース業務	看護師、看護助手、SPDの白衣及びタオルのリース	株式会社柴橋商会	調度課
7	白衣等リース業務	看護師、看護助手、SPD以外の白衣のリース	株式会社サンビームランドリー	調度課
8	SPD物流管理サービス業務	医療材料の物流管理業務	ホスピタルパートナーズ株式会社	調度課
9	医薬品院内物流管理業務	購買管理補助業務 薬品在庫管理業務 配置定数薬の補充管理業務 搬送業務 等	東邦薬品株式会社	薬剤部
10	医事関連業務	外来部門の計算・受付・クラーク業務及び保険請求関連業務	株式会社 アイ・エム・ビー・センター	入院業務課 外来業務課
11	健診センター関連業務	受診者対応、会計・計算業務等	株式会社 アイ・エム・ビー・センター	健診センター
12	医療情報センター関連業務	医事統計の作成、データ分析、システム障害対応等	株式会社 アイ・エム・ビー・センター	医療情報課
13	病棟クラーク業務	入退院手続、書類作成、入院患者の面会者対応	株式会社 日本教育クリエイト	看護部
14	院内保育所運営業務	職員子女の保育業務	株式会社 ホピンスコーポレーション	総務課
15	施設管理	施設設備の運転及び点検業務	株式会社 丸誠	施設課
16	警備業務	院内外の警備業務	国際警備 株式会社	施設課
17	清掃業務	外回り外来部門・病棟・手術室・事務室等院内清掃業務	株式会社 丸誠	施設課

9 經營報告

9 - 1 稼働状況等報告

別紙のとおり

平成24年度 診療科別患者数等管理数値

診療科	外来(245日)										入院(365日)										救急患者			
	新患者数		延患者数		1日平均	新入院数		退院数	延患者数		1日平均	在院日数		救急車	入院	入院率								
	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月							
内科	2,513	2,592	26,906	27,299	110	112	846	914	880	17,892	19,672	639	19.4	19.4	18.3	359	343	18.3						
緩和ケア	50	81	95	372	1	4	57	105	156	6,400	7,633	229	33.3	42.2	7	3	7	100.0						
精神科	470	456	10,286	9,180	42	37	201	196	234	9,446	8,596	337	44.9	43.8	80	28	60	75.0						
神経内科	620	792	6,271	6,951	32	36	397	402	403	10,323	11,291	369	21.1	24.4	421	284	302	71.7						
呼吸器科	1,559	1,429	12,861	13,154	52	53	1,158	1,090	1,122	19,665	18,888	702	16.2	15.6	879	528	572	65.1						
消化器科	3,491	3,332	21,872	21,144	89	86	1,720	1,569	1,647	22,484	19,223	803	11.8	12.1	1,867	611	713	38.2						
循環器科	1,241	1,273	12,945	13,665	53	56	1,588	1,595	1,551	14,631	13,592	523	8.3	8.2	764	449	530	69.4						
小児科	5,162	4,896	16,485	15,382	67	63	1,123	1,118	1,125	7,153	6,800	255	3.4	4.0	4,137	663	407	9.8						
外科	1,296	1,109	15,457	14,165	63	58	1,408	1,485	1,457	18,907	19,762	675	12.6	11.7	440	184	282	64.1						
整形外科	3,809	3,674	24,574	22,273	126	115	1,283	1,193	1,327	26,375	25,167	942	19.2	18.9	1,325	510	421	31.8						
形成外科	936	954	7,046	6,911	36	36	219	196	244	3,665	2,316	131	12.5	11.5	403	53	12	3.0						
脳神経外科	952	941	3,986	3,952	28	27	333	368	341	7,029	8,288	251	21.2	19.0	703	330	283	40.3						
呼吸器外科	14	21	1,430	1,369	10	9	55	66	68	668	669	24	9.4	9.0	9	2	4	44.4						
心臓血管外科	75	76	783	595	8	6	104	110	139	3,240	2,822	116	23.7	26.3	34	28	30	88.2						
皮膚科	2,131	2,138	12,955	11,675	53	47	183	175	180	2,235	2,914	80	12.7	11.2	428	44	34	7.9						
泌尿器科	1,338	1,373	15,147	15,361	62	62	837	775	828	7,604	7,291	272	7.3	7.4	502	122	83	16.5						
産婦人科	1,663	1,177	25,712	18,093	105	74	1,316	1,002	1,319	9,894	8,826	353	5.8	6.3	996	103	627	63.0						
眼科	754	943	9,685	12,781	67	52	248	302	248	944	1,234	34	2.8	2.8	57	17	5	8.8						
耳鼻咽喉科	1,963	3,039	9,338	13,881	47	56	505	737	501	2,778	4,970	99	4.9	4.5	307	83	28	9.1						
放射線科	1,136	1,041	5,311	5,024	22	20	65	90	61	1,480	2,180	53	21.9	21.8	14	5	3	21.4						
アレルギー科	336	420	4,086	4,095	17	17	44	63	45	204	261	7	3.5	2.9	156	35	37	23.7						
リハビリテーション科	8	16	745	1,896	0	34	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0						
歯科口腔外科	1,783	1,507	9,979	7,765	41	40	204	175	204	755	759	27	1.7	2.2	25	8	7	28.0						
救急部	6,599	5,731	9,311	8,049	26	22	741	664	562	6,069	4,756	217	7.4	6.3	9,053	7,467	746	8.2						
24年度合計	39,899	38,971	263,266	255,032	1,075	1,045	14,635	14,390	14,642	199,831	197,850	7,137	12.0	11.9	24,482	11,916	5,536	22.6						
24年度合計	病床利用率... 86.4 % 紹介率... 95.4 % 逆紹介率... 58.7 % 分科件数... 851 件																							
前年	病床利用率... 85.3 % 紹介率... 91.0 % 逆紹介率... 54.0 % 分科件数... 603 件																							

平成24年度

診療科別患者数等管理数値

稼働額は、千円単位 収入単価は、円を表示

診療科	外来診療収入						入院診療収入						入外合計額			手術		
	診療収入			収入単価			診療収入			診療収入(室料差額除)			収入単価					
	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月	当月	前年同月
内科	523,389	492,703	19,453	18,048	1,041,589	1,044,001	1,135,467	1,093,477	1,008,160,381	56,379	55,585	1,564,978	1,628,170	24	48			
緩和ケア	970	2,434	10,210	6,543	319,890	321,000	356,221	304,889	282,479	44,137	39,944	320,860	358,655	0	0			
精神科	64,321	57,310	6,253	6,243	320,303	325,689	289,543	283,605	313,433	33,182	32,993	384,624	348,852	251	220			
神経内科	63,780	72,047	10,171	10,365	532,114	550,136	581,886	558,186	512,244	49,622	49,436	595,894	653,933	0	0			
呼吸器科	161,882	170,727	12,587	12,979	966,054	961,645	940,382	876,311	913,895	46,473	46,395	1,127,937	1,111,109	0	0			
消化器科	291,057	274,693	13,307	12,992	1,226,517	1,232,529	1,050,968	997,767	1,163,067	51,729	51,905	1,517,574	1,325,661	0	0			
循環器科	156,373	164,099	12,080	12,009	2,288,809	2,278,074	1,974,964	1,950,792	2,260,524	154,502	144,161	2,445,182	2,139,063	18	14			
小児科	171,394	142,201	10,397	9,245	429,288	419,404	377,443	371,214	423,880	59,259	54,590	600,682	519,644	0	0			
外科	432,914	317,888	28,008	22,440	1,358,155	1,344,934	1,318,947	1,263,948	1,308,587	69,212	63,958	1,791,069	1,636,815	1,062	947			
整形外科	176,787	159,660	7,194	7,168	1,801,343	1,776,817	1,670,583	1,736,965	1,614,265	65,856	64,142	1,978,130	1,830,243	1,245	1,124			
形成外科	55,647	53,983	7,898	7,811	204,673	200,205	127,184	198,824	198,824	54,249	54,434	260,320	181,167	600	476			
脳神経外科	47,221	48,860	11,847	12,363	504,392	518,011	571,494	582,032	490,366	69,763	66,606	551,613	620,353	126	136			
呼吸器外科	30,694	34,471	21,464	25,179	82,126	82,382	92,548	90,944	81,135	121,459	135,940	112,820	127,019	58	65			
心臓血管外科	11,047	7,179	14,109	12,065	636,709	633,376	477,276	473,334	631,037	194,764	167,730	647,756	484,455	133	112			
皮膚科	43,972	40,871	3,394	3,501	89,152	91,853	109,545	103,984	83,680	37,441	35,684	133,124	150,416	188	181			
泌尿器科	227,102	244,182	14,993	15,896	439,338	445,454	401,174	386,526	423,069	55,638	53,014	666,439	645,357	460	411			
産婦人科	153,852	108,476	5,984	5,995	791,583	777,752	562,386	542,505	765,268	77,347	61,467	945,434	670,862	436	326			
眼科	69,660	85,745	7,193	6,709	72,653	74,240	90,102	87,944	71,019	75,232	71,268	142,313	175,847	277	312			
耳鼻咽喉科	67,973	98,084	7,279	7,066	139,160	149,413	247,914	228,333	120,463	43,363	45,942	207,133	345,998	55	192			
放射線科	107,226	97,400	20,189	19,387	77,005	78,115	103,846	98,890	71,998	48,648	45,363	184,231	201,247	0	0			
アレルギー科	31,624	33,559	7,740	8,195	14,983	16,264	18,742	18,017	14,255	69,879	69,029	46,607	52,301	0	0			
リハビリテーション科	3,020	7,381	4,054	3,893	0	0	0	0	0	0	0	3,020	7,381	0	0			
歯科口腔外科	67,095	49,585	6,724	6,386	56,866	52,272	47,926	46,616	55,314	73,263	61,417	123,961	97,511	212	178			
救急部	223,737	176,193	24,029	21,889	679,491	662,022	563,823	559,411	673,424	110,961	117,622	908,228	740,006	0	3			
24年度合計	3,182,736	2,939,792	12,089	11,527	14,072,193	14,035,569	13,110,364	12,629,060	13,603,084	68,073	63,881	17,254,929	16,050,066	5,145	4,745			
	単位/千円	人間ドック 件数/金額	健康診断 件数/金額	合計 件数/金額														
	健診センター	1,844	110,456	43,189	8,401	153,645												
		1679	100,176	42,996	8,321	143,172												

9 - 2 中央部門業務報告

別紙のとおり

中央部門業務報告(放射線部)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
X線	胸部撮影	人数	3,970	4,328	4,167	4,414	4,223	3,771	3,463	3,366	3,550	3,280	3,388	45,246	
	腹部撮影	人数	1,022	1,256	1,136	1,287	1,338	1,161	981	1,005	1,042	837	886	12,856	
	骨部撮影	人数	1,586	2,090	1,911	1,747	1,903	1,979	1,932	1,804	1,741	1,864	1,786	1,792	22,135
	その他単純撮影	人数	108	138	151	161	146	89	159	172	143	134	197	158	1,756
	血管造影	人数	163	139	159	145	173	190	164	149	145	157	164	182	1,930
	消化器造影	人数	106	171	188	201	214	239	248	211	213	189	189	225	2,394
	泌尿器造影	人数	41	51	45	50	48	42	43	54	42	48	47	59	570
	透視他造影	人数	93	108	129	110	113	50	114	94	106	124	97	100	1,238
	骨塩定量	人数	91	91	101	108	101	116	143	89	98	113	94	87	1,232
	合計	人数	7,180	8,372	7,987	8,223	8,259	7,637	7,247	6,904	6,896	7,084	6,691	6,877	89,357
	上記の内数	人数	1,199	1,271	1,284	1,323	1,194	1,056	1,253	1,264	1,235	1,495	1,362	1,366	15,302
	CT検査	骨塩定量	人数	91	91	101	108	101	116	143	98	113	94	87	1,232
		頭頸部	人数	742	838	740	775	764	713	840	722	835	783	851	9,529
		躯幹部	人数	1,509	1,724	1,627	1,792	1,796	1,656	1,774	1,803	1,777	1,871	1,705	1,683
合計		人数	2,251	2,562	2,367	2,567	2,560	2,369	2,614	2,525	2,612	2,797	2,488	2,534	30,246
MRI検査	頭頸部	人数	317	286	343	339	308	269	326	316	301	295	300	3,705	
	その他	人数	349	370	360	409	411	337	389	409	351	349	374	396	4,504
RI	合計	人数	666	656	703	748	719	606	715	725	652	669	696	8,209	
	体外測定	件数	112	118	130	125	119	105	124	120	76	105	95	95	1,341
PET/CT	体外測定	人数									29	50	49	128	
放射線治療	照射件数(入院)	人数	199	223	207	164	182	202	268	273	199	217	224	2,588	
	照射件数(外来)	人数	212	223	335	261	326	235	376	361	393	249	262	3,530	
	延べ照射件数	件数	870	899	1,063	919	1,129	971	1,504	1,500	1,322	924	1,210	1,252	13,563

中央部門業務報告(臨床検査部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
項目数	5,694	6,484	6,632	6,918	7,246	6,382	7,352	7,039	6,850	6,975	6,619	6,922	81,113
血液	13,508	15,214	14,484	14,768	15,383	13,350	15,743	15,328	15,178	15,954	14,835	15,380	179,125
血液(外注)	7,924	8,418	8,233	8,198	8,099	7,385	8,427	8,223	8,505	9,604	8,099	8,286	99,401
生化学(ブランチ)	120,989	135,178	129,946	135,073	139,337	120,094	140,236	135,083	134,957	144,847	131,555	134,432	1,601,727
免疫血清(ブランチ)	5,791	6,153	6,118	6,052	6,600	5,197	7,080	6,951	6,662	7,668	6,947	6,950	78,169
細菌(一般)	2,486	2,692	2,460	2,851	2,687	2,362	2,739	2,786	2,623	2,952	2,523	2,732	31,893
細菌(結核)	132	146	88	141	122	137	146	108	139	139	119	121	1,538
血液ガス(ブランチ)	736	857	695	797	865	772	960	885	911	970	825	867	10,140
検体検査合計	157,260	175,142	168,656	174,798	180,339	155,679	182,683	176,403	175,825	189,109	171,522	175,690	2,083,106
生	2,161	2,341	2,228	2,468	2,329	2,180	2,936	2,380	2,403	2,541	2,318	2,498	28,783
理	53	44	47	45	47	39	39	41	36	40	39	47	541
検	345	415	449	449	447	357	503	452	428	394	400	404	5,043
査	1,057	1,207	1,300	1,296	1,256	1,123	1,344	1,303	1,270	1,279	1,199	1,283	14,917
心音波	127	108	123	114	140	125	129	118	107	126	129	140	1,486
心カテ	265	255	233	241	268	271	282	253	240	252	220	187	2,867
耳鼻科検査	128	148	149	205	202	192	231	191	166	182	194	197	2,185
筋電図・脈波・その他	4,136	4,518	4,529	4,818	4,713	4,287	5,464	4,738	4,650	4,814	4,399	4,756	55,822
生理検査合計	2,384	2,554	2,067	2,447	2,317	2,310	2,404	2,344	2,844	3,008	2,386	2,575	29,640
時間外検査	13,522	15,052	15,998	14,411	15,403	13,382	14,120	13,878	13,392	13,392	13,323	14,855	171,273
外注検査	4,992	5,280	5,048	5,090	5,321	4,573	4,567	4,671	4,890	5,188	4,832	5,131	59,583
外来採血患者数	3,063	3,217	3,426	3,238	3,561	2,839	3,543	3,441	3,154	3,391	3,394	3,385	39,652
入院患者採血管理検査	14	13	26	26	26	26	13	12	13	12	12	12	205
栄養従事者検査	17	22	17	19	18	9	14	15	16	15	14	20	196
尿素呼吸試験	485	481	478	541	507	469	502	564	529	451	498	483	5,988
病理検査	21	11	9	18	12	15	15	11	11	15	14	18	170
組織診断	289	362	385	406	385	362	371	390	341	385	342	411	4,429
迅速診断	24	7	28	26	45	30	30	29	47	35	42	28	371
細胞診断	0	2	0	0	2	1	1	2	4	2	2	1	17
その他	819	863	900	991	951	877	919	996	932	888	898	941	10,975
病理解剖	584	604	485	586	504	434	668	460	550	566	594	654	6,689
合計	210	122	134	419	239	124	213	130	140	184	226	575	2,716
MAP	23	21	8	15	8	8	20	18	11	1	18	38	189
自己血	940	760	435	520	480	605	755	485	770	805	795	695	8,045
濃厚血小板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,757	1,507	1,062	1,540	1,231	1,171	1,656	1,093	1,471	1,556	1,633	1,962	17,639
合計	609	689	695	702	721	618	773	720	730	738	696	705	8,396
血液型	295	317	268	276	304	260	360	290	355	337	327	310	3,699
交差試験	522	562	540	524	561	429	572	519	524	572	522	550	6,397
不規則抗体	25	35	28	30	27	20	33	33	42	28	36	36	373
その他	1,451	1,603	1,531	1,532	1,613	1,327	1,738	1,562	1,651	1,675	1,581	1,601	18,865
合計													

備考 心カテに技師2名、耳鼻科技師1名派遣

中央部門業務報告(処方箋枚数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院 処方	8,116	8,922	8,842	8,530	8,356	7,534	8,910	8,989	8,912	9,004	8,833	8,872	103,820
入院 注射	9,156	10,200	9,480	8,443	9,572	8,624	9,008	9,328	9,179	8,855	8,365	9,283	109,493
外来 処方	79	75	78	93	103	103	119	108	112	86	104	98	1,158
外来 時間外処方	789	834	776	981	863	884	861	852	1,099	1,051	831	1,063	10,884
外来 注射	598	701	702	830	839	812	935	950	847	775	856	960	9,805
院外処方箋	10,172	10,964	10,389	10,882	11,027	11,027	11,190	10,518	10,653	10,666	12,431	10,685	130,604
抗がん剤混注	410	426	413	385	450	387	497	475	381	490	498	459	5,271
IVH調整	51	46	125	93	75	32	17	103	86	86	47	94	855
服薬指導	638	669	749	806	888	749	908	871	773	747	701	689	9,188

中央部門業務報告 (栄養課)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食 件数	27,769	28,206	27,478	25,713	27,282	24,943	28,024	27,005	27,484	28,596	27,804	27,566	327,870
治療食 件数	9,275	11,352	11,550	10,909	10,241	10,188	10,657	10,773	10,785	10,589	9,878	12,656	128,853
調乳 件数	326	596	535	352	474	517	517	424	565	551	302	388	5,547
栄養相談 件数	136	148	138	156	167	142	182	214	190	175	164	171	1,983
合計 件数	37,506	40,302	39,701	37,130	38,164	35,790	39,380	38,416	39,024	39,911	38,148	40,781	464,253

中央部門業務報告(リハビリテーション科)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
リハビリ	理学療法	件数	2,371	2,865	2,840	2,800	3,091	2,485	3,341	3,272	3,092	3,187	3,265	36,082
	作業療法	件数	831	1,003	862	921	763	729	1,020	934	976	902	940	10,978
	言語聴覚療法	件数	622	520	534	584	594	570	739	596	596	625	589	7,191
	合計	件数	3,824	4,388	4,236	4,305	4,448	3,784	5,100	4,802	4,664	4,714	4,794	54,251

中央部門業務報告（内視鏡室）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	265 (203)	288 (243)	273 (317)	268 (317)	277 (275)	241 (244)	295 (268)	309 (278)	262 (247)	260 (264)	253 (247)	301 (292)
上部消化管												
外科	26 (30)	36 (45)	34 (34)	24 (34)	29 (29)	19 (42)	24 (35)	34 (47)	35 (35)	25 (27)	26 (35)	31 (43)
ドック	47 (52)	69 (49)	116 (70)	94 (66)	98 (71)	104 (79)	95 (92)	125 (93)	107 (83)	96 (81)	102 (78)	89 (91)
内科	114 (79)	119 (91)	121 (108)	128 (108)	118 (98)	114 (103)	130 (95)	138 (125)	133 (97)	127 (110)	123 (123)	150 (144)
下部消化管												
外科	22 (38)	34 (39)	37 (45)	33 (45)	22 (22)	17 (36)	24 (23)	34 (31)	36 (25)	29 (28)	32 (36)	40 (33)
ドック	9 (4)	6 (6)	8 (14)	4 (4)	7 (9)	6 (10)	6 (8)	8 (7)	10 (8)	7 (6)	11 (5)	9 (6)
気管支鏡												
呼吸器科	11 (13)	17 (21)	8 (15)	25 (15)	18 (10)	18 (16)	18 (10)	10 (12)	22 (13)	16 (18)	14 (14)	16 (12)
ERCP	29 (43)	35 (30)	44 (27)	28 (27)	31 (34)	24 (31)	35 (31)	27 (37)	30 (46)	31 (38)	24 (31)	23 (36)
合計	523	604	641	604	600	543	627	685	635	591	585	659

※()内は、2011年度の件数。気管支鏡件数:2012年度分は、医事統計数より。 ※検査実数のため、内視鏡件数(医事算定件数)とは異なります

中央部門業務報告 (透析室)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
透 析	件数	190	220	194	167	175	143	222	204	206	205	211	224	2,302
	血漿交換 件数	7	8	13	23	7	0	8	1	4	6	6	13	155
	合計 件数	197	228	207	190	182	143	230	205	210	211	217	237	2,457

中央部門業務報告（手術室）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全身麻酔	266	291	290	291	313	247	290	308	281	265	284	295	3,421
局所麻酔	117	105	123	118	124	108	110	100	86	113	113	112	1,329
その他麻酔	24	31	33	39	42	26	28	46	44	41	18	25	397
合計	407	427	446	448	479	381	428	454	411	419	415	432	5,147

9-3 決算書

別紙のとおり

(12)損益計算書(平成24年度)

収益	予算(A)	24年決算(B)	23年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業収益	17,603,226,000	18,649,878,019	17,031,787,283	1,046,652,019	1,618,090,736	9.50%
医業収益	16,844,899,000	17,350,200,156	16,232,095,580	505,301,156	1,118,104,576	6.89%
入院収益	13,152,567,000	13,556,639,510	12,659,653,314	404,072,510	896,986,196	7.09%
患者延べ数(人)	206,590	199,831	197,851	△ 6,759	1,980	1.00%
患者1日平均(人)	566	547	541	△ 19	7	1.28%
診療単価(円)	63,665	67,841	63,986	4,175	3,855	6.02%
病床利用率(%)	89.30%	86.40%	85.30%	-2.90%	1.10%	1.29%
平均在院数(日)		11.90	11.80	11.90	0.10	0.85%
外来収益	2,931,253,000	3,046,172,433	2,838,257,368	114,919,433	207,915,065	7.33%
患者延べ数(人)	257,118	263,266	255,032	6,148	8,234	3.23%
患者1日平均(人)	1,049	1,075	1,045	25	29	2.81%
診療単価(円)	11,400	11,571	11,129	170	442	3.97%
室料差額収益	519,022,000	454,752,420	476,886,150	△ 64,269,580	△ 22,133,730	-4.64%
保健予防活動収益	185,022,000	223,562,312	192,476,901	38,540,312	31,085,411	16.15%
その他の医業収益	86,486,000	104,883,846	89,687,050	18,397,846	15,196,796	16.94%
保険等査定減	△ 29,451,000	△ 35,810,365	△ 24,865,203	△ 6,359,365	△ 10,945,162	44.02%
医業外収益	758,327,000	888,279,662	789,160,049	129,952,662	99,119,613	12.56%
受取利息	0	60	60	60	0	0.00%
本部繰入金	0	0	0	0	0	
他会計繰入金	0	65,107,297	0	65,107,297	65,107,297	
運営費補助金等収益	469,003,000	483,467,368	497,796,230	14,464,368	△ 14,328,862	-2.88%
施設設備費補助金等収益	60,876,000	120,281,961	55,570,208	59,405,961	64,711,753	116.45%
患者外給食収益	2,782,000	2,597,280	2,738,925	△ 184,720	△ 141,645	-5.17%
その他の医業外収益	225,666,000	216,825,696	233,054,626	△ 8,840,304	△ 16,228,930	-6.96%
特別利益	0	411,398,201	10,531,654	411,398,201	400,866,547	3806.30%
固定資産売却益	0	56,350,000	0	56,350,000	56,350,000	
貸倒引当金戻入益	0	13,604,471	0	13,604,471	13,604,471	
その他前期損益修正益	0	339,930,813	10,531,654	339,930,813	329,399,159	3127.71%
その他特別利益	0	1,512,917	0	1,512,917	1,512,917	

費用	予算(A)	24年決算(B)	23年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	昨年度比(B-C)
みなと赤十字病院事業費用	16,713,430,000	17,339,149,332	16,236,032,536	625,719,332	1,103,116,796	6.79%
医業費用	16,302,884,000	16,497,936,340	15,335,614,139	195,052,340	1,162,322,201	7.58%
材料費	4,113,228,000	4,264,857,467	3,776,588,709	151,629,467	488,268,758	12.93%
薬品費	1,749,454,000	1,630,873,814	1,507,676,651	△ 118,580,186	123,197,163	8.17%
診療材料費	2,157,612,000	2,403,908,420	2,047,749,601	246,296,420	356,158,819	17.39%
給食材料費	126,646,000	121,187,779	124,566,145	△ 5,458,221	△ 3,378,366	-2.71%
医療消耗品費	79,516,000	108,887,454	96,596,312	29,371,454	12,291,142	12.72%
給与費	8,215,584,000	8,113,694,668	7,580,060,863	△ 101,889,332	533,633,805	7.04%
委託費	1,505,354,000	1,559,648,118	1,532,008,212	54,294,118	27,639,906	1.80%
設備関係費	1,712,626,000	1,732,533,833	1,605,160,218	19,907,833	127,373,615	7.94%
減価償却費	456,289,000	722,896,727	427,133,480	266,607,727	295,763,247	69.24%
機器賃借料	372,970,000	8,349,288	299,224,982	△ 364,620,712	△ 290,875,694	-97.21%
指定管理者負担金他	664,414,000	653,628,444	652,323,450	△ 10,785,556	1,304,994	0.20%
修繕費	157,656,000	168,661,946	164,646,105	11,005,946	4,015,841	2.44%
機器保守料	57,766,000	175,521,647	58,054,096	117,755,647	117,467,551	202.34%
その他	3,531,000	3,475,781	3,778,105	△ 55,219	△ 302,324	-8.00%
研究研修費	31,190,000	28,919,489	24,615,890	△ 2,270,511	4,303,599	17.48%
経費	724,902,000	798,282,765	817,180,247	73,380,765	△ 18,897,482	-2.31%
通信費	15,262,000	16,295,165	16,355,009	1,033,165	△ 59,844	-0.37%
消耗品費	69,994,000	72,372,050	75,389,002	2,378,050	△ 3,016,952	-4.00%
水道光熱費	385,956,000	418,163,394	382,096,192	32,207,394	36,067,202	9.44%
賃借料	104,164,000	116,619,902	120,472,503	12,455,902	△ 3,852,601	-3.20%
租税公課	12,691,000	13,824,411	17,382,882	1,133,411	△ 3,558,471	-20.47%
その他	136,835,000	161,007,843	205,484,659	24,172,843	△ 44,476,816	-21.64%
医業外費用	410,546,000	511,361,611	703,949,317	100,815,611	△ 192,587,706	-27.36%
支払利息	68,337,000	71,536,547	76,855,285	3,199,547	△ 5,318,738	-6.92%
患者外給食用材料費	4,634,000	4,200,029	4,590,271	△ 433,971	△ 390,242	-8.50%
看護師等委託養成費	0	25,800,000	0	25,800,000	25,800,000	
診療費減免額	1,782,000	3,994,000	3,230,850	2,212,000	763,150	23.62%
本部繰出金	3,376,000	3,459,706	3,427,192	83,706	32,514	0.95%
他会計繰出金	0	2,067,130	106,991,830	2,067,130	△ 104,924,700	-98.07%
退職給付債務変更時差異	107,062,000	107,061,691	107,061,691	△ 309	0	0.00%
その他医業外費用	225,355,000	293,242,508	401,792,198	67,887,508	△ 108,549,690	-27.02%
特別損失	0	329,851,381	196,469,080	329,851,381	133,382,301	67.89%
固定資産除却損	0	119,822,455	190,911,492	119,822,455	△ 71,089,037	-37.24%
前期損益修正損	0	210,028,926	5,557,588	210,028,926	204,471,338	3679.14%
その他特別損失	0	0	0	0	0	

経常損益(特別収支を除いたもの)	889,796,000	1,229,181,867	981,692,173	339,385,867	247,489,694	25.21%
医業損益	542,015,000	852,263,816	896,481,441	310,248,816	△ 44,217,623	-4.93%
純損益	889,796,000	1,310,728,687	795,754,747	420,332,687	514,973,940	64.72%

貸 借 対 照 表

平成25年 3月31日

(施設名) 横浜市立みなと赤十字病院

(単位:円)

資 産 の 部			負 債 及 び 基 金 の 部		
1. 流 動 資 産			1. 流 動 負 債		
現 金		6,581,410	買 掛 金		642,452,211
預 金		2,145,929,003	未 払 金		736,947,643
医 業 未 収 金	3,015,917,662		短 期 借 入 金		1,635,290,000
貸 倒 引 当 金	65,636,178	2,949,281,424	未 払 費 用		20,367,425
未 収 金		89,565,000	未 払 法 人 税 等		0
有 価 証 券		0	前 受 金		6
医 薬 品		73,940,173	預 り 金		3,707,430
診 療 材 料		0	職 員 預 り 金		107,637,624
給 食 用 材 料		4,034,769	前 受 収 益		0
貯 蔵 品		0	賞 与 引 当 金		324,341,600
前 払 費 用		0	そ の 他 の 流 動 負 債		2,584,882
未 収 収 益		17,364,741	流 動 負 債 合 計		4,237,088,548
短 期 貸 付 金		0			
繰 延 税 金 資 産		0	2. 固 定 負 債		
そ の 他 の 流 動 資 産		177,769,075	長 期 借 入 金		2,643,209,000
流 動 資 産 合 計		5,476,985,910	長 期 未 払 金		515,041,244
			預 り 出 資 金		0
2. 固 定 資 産			退 職 交 付 受 入 金		0
(1) 有 形 固 定 資 産			退 職 給 付 引 当 金		2,563,587,013
建 物		121,931,202	医 療 訴 訟 引 当 金		0
建 物 減 価 償 却 累 計 額	3,428,608		長 期 前 受 補 助 金 等		387,465,377
建 物 付 属 設 備		454,354,563	そ の 他 の 固 定 負 債		0
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 累 計 額	85,972,028		固 定 負 債 合 計		5,609,084,130
構 築 物		17,562,088			
構 築 物 減 価 償 却 累 計 額	2,969,622		負 債 合 計		9,846,172,678
医 療 用 器 械 備 品		1,377,712,413			
医 療 用 器 械 備 品 減 価 償 却 累 計 額	4,222,585,615		3. 基 本 金		15,986,453
そ の 他 の 器 械 備 品		786,552,928	4. 基 金 積 立 金		
そ の 他 の 器 械 備 品 減 価 償 却 累 計 額	749,518,292		本 社 交 付 金		0
車 両		17,480,171	支 部 繰 入 金		0
車 両 減 価 償 却 累 計 額	3,849,494		そ の 他 の 繰 入 金		0
放 射 性 同 位 元 素		0	補 助 金		0
放 射 性 同 位 元 素 減 価 償 却 累 計 額	0		寄 付 金		54,045,000
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産		55,177,112	固 定 資 産 再 評 価 益 (損) 金		365,395
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 累 計 額	5,094,268		固 定 資 産 処 分 益 (損) 金		0
土 地		0	基 金 積 立 金 合 計		56,606,395
建 設 仮 勘 定		0			
有 形 固 定 資 産 合 計		2,830,770,477	5. 利 益 剰 余 金		
(2) 無 形 固 定 資 産			利 益 積 立 金		0
借 地 権		0	特 別 積 立 金		0
ソ フ ト ウ ェ ア		17,902,903	当 期 未 処 分 利 益 (損 失)		-231,786,904
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産		0	利 益 剰 余 金 合 計		-231,786,904
無 形 固 定 資 産 合 計		17,902,903	6. 有 価 証 券 評 価 差 額 金		0
(3) そ の 他 の 資 産			基 金 合 計		-159,194,056
有 価 証 券		0			
長 期 貸 付 金		115,205,000			
預 金		0			
長 期 未 収 金		0			
長 期 前 払 費 用		18,925			
施 設 整 備 準 備 積 立 金		0			
病 院 建 物 建 設 資 金 出 資 金		476,414,423			
病 院 財 政 調 整 事 業 資 金 出 資 金		229,144,324			
出 資 金		217,850			
退 職 拠 出 金		538,445,066			
預 託 金		1,550,030			
繰 延 税 金 資 産		0			
そ の 他 の 固 定 資 産		0			
そ の 他 の 資 産 合 計		1,361,319,332			
固 定 資 産 合 計		4,209,992,712			
資 産 合 計		9,686,978,622	負 債 及 び 基 金 合 計		9,686,978,622

自 平成24年04月01日
至 平成25年03月31日

キャッシュ・フロー計算書

横浜市立みなと赤十字病院

横浜市立みなと赤十字病院
(単位:円)

	金額
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
取引前当期純利益	1,310,723,687
減価償却費	731,645,292
リース有形固定資産減価償却費	455,054,573
リース無形固定資産減価償却費	269,887,143
リース無形固定資産償却費	6,706,476
長期前払費用減価償却費	0
貸倒引当金の増減	-28,899,261
貸与引当金の増減	-34,051,572
医療訴訟引当金の増減	224,709,802
退職給付引当金の増減	72,716,442
退職給付引当金の増減	0
退職給付引当金の増減	0
その他の引当金の増減	0
施設設備補助金等収益	-128,947,798
受取利息	71,856,547
受取利息	0
有形固定資産売却損	119,735,207
有形固定資産売却損	83,248
無形固定資産売却損	0
無形固定資産売却損	0
前期損益修正損	197,416,136
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	57,864,692
その他	140,051,444
その他特別損失	0
有形固定資産売却利益	-56,850,000
有形固定資産売却利益	0
前期損益修正益	-321,837,384
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	-43,499,426
その他特別利益	-278,037,809
医業未収金の増減	-2,896,991
医業未収金の増減	-128,087,064
未収金の増減	-20,201,550
医療品の増減	-3,075,081
診療材料の増減	0
給付品の増減	-66,409
預戻金の増減	0
預戻金の増減	9,599
未収収益の増減	-3,949,632
その他流動資産の増減	6,496,892
買掛金の増減	-12,795,245
未払金の増減	-31,030,575
未払費用の増減	-1,587,440
前受金の増減	0
預り金の増減	3,906,635
職員預り金の増減	39,077,730
前受収益の増減	25,800,000
その他の流動負債の増減	-46,769,488
その他	1,954,627,087
小計	60
利息の受取額	-79,525,588
利息の支払額	0
法人協会の支払額	0
業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	1,881,161,669

	金額
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の購入による支出	0
定期預金の払戻による収入	0
有価証券の取得による収入	0
有価証券の償還による収入	-811,099,895
所有有形固定資産の取得による支出	107,000,000
所有有形固定資産の売却による収入	-394,800
所有無形固定資産の取得による収入	0
長期前払費用の取得による支出	144,733,350
短期貸付金の増減	0
長期貸付金の回収による収入	-36,600,000
病院建物建設資金出資金の返済による支出	32,000,000
病院建物建設資金出資金の返済による収入	-32,457,729
病院財政調整事業資金出資金の返済による支出	0
病院財政調整事業資金出資金の返済による収入	-16,282,095
出資金の払戻による収入	0
出資金の返済による支出	0
預託金の購入による支出	0
預託金の払戻による収入	0
その他の固定資産による支出	0
その他の固定資産による収入	1,350
その他	-627,009,839
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	-627,009,839
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減	-200,000,000
長期借入による収入	100,000,000
長期借入金の返済による支出	-585,269,000
リース債務未払金の返済による支出	-434,395,100
預り出資金の受入による収入	0
預り出資金の払戻による支出	0
その他の固定負債による支出	0
その他の固定負債による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	-1,069,565,100
4. 現金及び現金同等物の増加額(A+B+C)	184,566,620
5. 現金及び現金同等物項目残高	1,967,963,795
6. 現金及び現金同等物期末残高	2,152,520,415